第四千四百九號 （火曜日） THE KEIJO NIPPO 大正九年一月十三日 （一）

京城日報

米大陸軍計畫 某將軍談

米國にては嚢に六十五萬の兵員を召集し之れを歐洲戰線に立たしむべく米國內地に六ヶ月間徹底的訓練をなし更に之れを比較的閑散なる戰線に移して猶一ヶ月間の訓練を與へたりしも戰線に對する効力甚だ薄くして遺憾ながら到底戰爭に臨み今回一般軍事訓練の制度を設け平時に於て滿十八歲以上に達せる男兒をして三ヶ月乃至六ヶ月間の軍事訓練をなさしめ其の內より軍人志願の者を豫備役に編入し其の服役期間を十ヶ年とし若し此の期間に一朝有事に際すれば直ちに之等豫備役軍人を召集して戰線に立たしむべき計畫立てられつゝあれば今春六日より開かるべき米國議會に該法案の提出を見るに至るべし即ち該法案は民心の自由を尊重する上より志願制度とせられたるも之等は只表面を裝ふ美名に過ぎずして其の內容は米國の強烈なる社會的制裁により一度軍事訓練を受けたる壯丁は殆ど凡て強制的に志願兵たらしむるものたるは蔽ふべからず而も米國政府の年々豫備役に編入せんとする限定人員は六十萬を越え十ヶ年後の米國は實に六百萬の兵員を有する大陸軍國たるべきものなり目下該法案に對し一方にては最少限度三十萬たる人員を五十萬たるべしと主張しデモクラット黨にては之れが…しと主唱するものあれば員數には多少の變動は來すべきも兎に角米國將來の軍備は大いに注目に値すべし而も米國々民の軍事に對する觀念が漸次強烈を加へつゝあるは殆ど吾人の豫想外にて這般の大戰に於ける動員は昨秋九月迄に終了せられたるが此時米國政府の一般軍人に對する賜金は僅々一人六十弗に過ぎず中には多少不滿の聲なきに非ざりしも當局の辯明せる處は即ち今回の大戰に於て動員せるは獨り軍人のみに止まらず一般國民悉く動員せるものなり、されば軍人のみに對し特別に待遇を厚くするの要なし即ち國家の爲めに戰線に立てるものは國家の爲めに國內に在りて努力せるものと共に我國民の義務たらざるべからずと之に依つて不滿の聲は忽ち終熄せしも政府當局は爾ほ就職復業等に對して又は多大なる資金を投じて惜まず又傷病兵に對する感謝[illegible]に對する[illegible]の如きは聊かの遜色なきものありしと聞ち今や米國々內に漲る軍事思想は甚だ意外なる現象を呈しつゝある如し（東京支局）

海南の寶庫 比律賓（一）

二十四萬方哩の面積有る比律賓は人口甚だ稀薄なる爲めに其の宏大なる土地も未だ開拓せられざるもの多く耕地は全面積の十分の一半に過ぎず十分の三半は平地で草茫々と生ひ茂り人跡更に無く總面積の過半は山岳森林である政府も此の宏大なる未開拓地の開墾には出來るだけに力を注いで居れども氣候の然らしむるものか効果は甚だ少く見るべきものなかつたので是れが開發利用は人民にのみ委すべきにあらずとし政府事業の勃興を見るに至つた民的事業に企てられたのは國民銀行であつて次いで石炭及び鐵の採掘石油セメント工場等が漸次興され其の鐵石油セメント等は即ち一九一八年の十月十六日より一九一九年の二月九日迄の議會及び三月一日よりの臨時議會の決議に因つたもので資本は過半を政府より支出したのである又土地開發の爲產業組合の組織を獎勵し資金を貸付け此に要する經費は一百萬弗を見積つてゐる開拓した土地に植つけてゐるのは米及び玉蜀黍等である目下着々進行してゐるナショナルデベロプメントコンパニーの如きは政府の大規模の計畫になり事業資金も五千萬弗の豫算を計上してある此の會社は官民合同組織で目的は貿易である比律賓に於ける重要輸出品の價額を維持させる等は此のコンパニーの重要なる任務の一であるが此の會社の成績如何は比律賓の外國貿易に餘程の影響を與へることであらう例へば比律賓の石炭輸入總額五十萬噸の內三十萬噸は我國より供給してゐるのであるが此會社の事業の中にはセメント製造石炭採掘等をも數へてゐる且つ我が國で鐵の採掘事業に熱心になれば鐵も亦鐵の採掘事業を獎勵し其の他各方面に亘り注意を要することも少くないが是等は自然の推移已むを得ざる事であらう次に注意すべきは日貨排斥問題である比律賓の商權は殆ど支那人の掌中にあり其の內地取引は悉く支那人の手じやつてゐるので一時日貨排斥問題起り騷擾を醸すの已むなきに至つたが格別の影響を見る事なく終結を告げたのは先づ慶賀すべき事である（馬尼剌領事館在勤員談 東京支局）

生別

部 硯月

八六 秘密

井上は今日の手紙に依つて結婚の申込を拒絕された兇の胸中を察して實に同情に堪へなかつた。

『あれ程迄に成功を見ましたのも皆貴所の御庇護に依りますのに、就ては、定めし御怨みで御座いませうが、是に就いては云ふに云はれぬ御事情がお有りなさいますので……』

それ程の秘事を既に井上に迄打明けたのか、さすれば兩者の關係も略想像する事が出來ないでもない。假令如何に親しい間柄とは云へ、他人の言はば面目に關する事を、其の他人に、而も手紙で言つて寄越す事もあるまい。と斯う思へば嫉妬の意味でなくとも、兇に取つては男子の面目として快よくはないのである。

兇は暫らく無言の儘俯向いてみたが、兩頰に涙が一雫傳はつた。併し嗔恚の焔に溶けた涙ではない。井上と相愛の間ならば媒酌してなりとも遂げさせようと決めた思ひも今日前其の對手から自分の拒絕された事を聞かされては、胸中不快の感を萌したのは亡父の臨終の光景を想ひ浮かべたからである。

見れば井上の眼にも涙が滲み出た。井上の腦裡に浮かんだのは菊枝の父の臨終の光景である。菊枝の爲には又と得難い良緣を亡父の遺言に從つて一生の孤獨も打明くるにも明けられざる菊枝の胸中を察しては井上も兩々思ひは別に、憂愁は一つである。

『井上君』今聞けば、何か云ふに云はれぬ事情があるさうですが、菊枝孃には既に婚約の內定でもあるのですか』

『菊枝さんが他家に入り、若くは良人を迎へらる、其の出來る御境遇であつたなら』何で貴郎の御要求を退けられませう』

『では一生を矢張藝術の爲に犧牲となされるのですか』

『まあさう云ふものです』

井上の返答に依り、兇の想像は根底から壞された。

『夫れなら別に云ふに云はれぬ事情でもないぢやありませんか』

『君が先刻云はれた事情は單に藝術の爲孤獨を守ると云ふだけではありますまい』

『……』

兇の的を指したる質問に井上は返答に窮した。

『君！』事情と云ふのは一體どんな事ですか』

『硯上さん、宥して下さい、私は其の事情をお話し申す事が出來ません』

『君は僕を誤解してゐますね、僕の胸中を御存知ないのだ、僕が是迄三浦一家を保護したのも何も恩に著せる譯ではないが、三浦一家と雖も親戚もあらうし知己もあらう、夫れに僕が手を出す迄は誰も顧みる者がなかつたではありませんか、寧ろ僭越かも知れないが親戚關係にも増した間ではないかと信ずる。それにも拘らず僕を他人視して、僕の要求を拒絕する爲何も處僕の告白をしなくても良からうと思ふのです、僕だつて男ですもの、結婚を拒絕されたからつて何も恨みとは思やしません』

『御尤もです、併し私は私の天職上三浦一家の秘密、いゝえ事情を打明ける事は出來ません』

『何？』君の天職上？』

『さうです！』

『ぢや病氣ですね、假に病氣でないとしても、身體上に關する缺點なんですね』

『私からは何も申上げられません、唯貴郎の想像に任せる計りです』

神仙爐

猿丸太夫（五） 劍花坊

面白くも無い考證で、思はず長くなつた、これから猿丸太夫の歌を擧げて見る、先づ、群書類從百五十九巻の和歌部第十四にある、猿丸太夫集なるものを繙く。

あひしりて侍りける人の許よりすけにふみをつけてこれはいかゞみるこいひて侍る返事に

しらすけのま野の萩原ゆくさくさ君こそをしめま野の萩原

あだなる人のさすがにたのめこつれなくのみ侍りければ

いて人はここのみそよき月草のうつし心はあひもおもはず

あひしりて侍る女の家をまかりわたるこて草を結びていれ侍るこて

妹が門過ゆきかてに草結ぶ風吹きさくなあはん日までに

これ等の歌を見ると疑ひも無く萬葉ぶりで、後の世の人の作とは思はれない。

本紙定價 一部金五錢 一ヶ月金壹圓五十錢 三ヶ月金四圓三十錢 六ヶ月金八圓五十錢 廣告料 五號活字一行金四十錢 四號活字一行金七十錢 特別 一行金一圓二十錢
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 ……
印刷人 小川三之介
電話番號長六千九番一番……三〇〇番

株式名義書換停止廣告
當行定款第拾四條ニ依リ來ル一月十五日ヨリ定時株主總會終了ノ日迄當行株式ノ名義書換ヲ停止ス
大正九年壹月拾日
株式會社 朝鮮商業銀行

商業登記公告
一不二商業株式會社（資本増加）
増加資本ノ總額金拾萬圓
増加決議ノ年月日大正八年九月五日、各株ニ付拂込ミタル金額金五拾圓
右大正九年壹月九日登記
京城地方法院仁川支廳

內務省令甲種
自動車
運轉手養成
一月十五日開始
二ヶ月ノ科定ト一ヶ月ノ研究科デ學術技能トモ優秀ナル運轉手トナリ直チニ社會ニ出來ル
諸君ハ自動車事業ガ如何ニ有利有望ニシテ又如何ニ愉快ナルカヲ毎日見テ居ナガラ何故早ク之ヲ實行セヌカ
其從事者ハ朝鮮ニ學校ガナク非常ニレツカシク思ツテ居タノト內地ムツカシ遠ク大ノ費用ヲ要シナニ事ガ遊學スレバ多デ止メテ居タノデアロウ
併シ今ハ諸君ノ爲メニ東洋一ノ名ナル東京自動車學校ガ認可ヲ得テ京城ニ分校ヲ設ケ既ニ第三回ノ生徒ヲ募集シテ居ル此ノ機會ニ何ガ入學スルト安心シテ入學ガ出來ルヨイ人デモ普通學校又ハ尋常小學校位ノ人デアル
◎教授ノ方法
ハ內地デ朝鮮留學生ヲ悉ク成功セシタ經驗ノアル各教師ガ本校サセ卒業生ノ鮮人ト日本人トガ揃ツテ本所ニ獨特ノ透明自動車ト云フ如何ナル素人デモ一見シテ自動車內部ノ組立ト運轉作用ガ外ヨリ普通ノ分ルモノデ其他附屬物ト對照シ教授ト參考書ヲ一見シテ自ラ如何ナル構造デ如何ニシテ運轉スルカガ一見スル巧妙ナ教授法デアル
自動車ハ練習車ノ新台自動車四台デ練習生ニ自由ニ備ヘテアル
ニ科ヨリ成リ研究科ニハ實地ニ入リテ自動車ノ分解結合其他機械ノ道路ニ應用ノ實習ヲ施ス
合格法ニ依リ修業者ハ[illegible]
◎入學手續
ハ內地鮮人何レモ入學シ授業開始日ノ月十五日前ニ入學シタ時カラ[illegible]
東京自動車學校京城分校
京城府黃金町三丁目角
振替口座京城七一八八番
電話長二五六〇番

確實は弊店の生命にして信條なれば取引御安心を乞ふ
枕木商 城山組
電話長一二〇九番
振替下關五五一番

日本勸業銀行構內
勸業債券月報社
債券相場
一月十四日迄
債券便覽十一版發行中 送料一口金十二錢
振替口座東京一八番 本店
福岡市博多下吳服町 福岡支店
振替福岡九五五〇

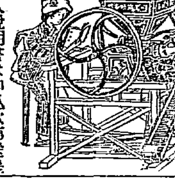
久永的新事業公開
工藝化學應用製造秘法
無資本 一日壹圓
其日から金儲
東京市本郷區…
工藝化學進…

信託事務開始 百圓以上
保證利息年七分二厘以上
いよく二月くじ
七十四回新債券 一通十圓券 送料一口十錢
家庭的お樂しみ
一組あれば毎月くじが樂しめる（送料當社持）
天 六七、六八 三八・二五
地 七六、七三、九、七二 三八・七〇
人 四七、七四、ち、り、る、を 三八・三五
大勸業債券相場表御申越次第進呈
債券一枚でも金融す

井田 事務所
……

精米麥機
……詳細圖入說明書は申込次第送呈
製造元 大阪西區市岡町東亞物產

畑兄弟硝子工場
京城古市町 電話二七四六
……



京城日報

增兵決行を要す

西伯利に於ける過激派の勢力は、澎湃として潮の寄するが如き勢ひあるの際、駐屯米軍は俄然撤退を開始したることは、既報の如くにして、吾人をして今更ながら米國の眞意を知るに苦しましむるものあるが、之を機として我が對西伯利政策の一進轉を爲し、所謂自主的行動を執るの必要あることは、蓋し全國輿論の一致する所なるべし。去る九日に於ける閣議の結果は別項所報の如く、未だ斷乎たる態度を決定するに至らずと雖も略大體の方針は決定せられたるものと見て、差支なからんと信ずるなり。

吾人は屢、西伯利增兵問題に就いて其の決行を希望し置きたるが、何分にも目今の我邦は殆ど全世界より猜忌の目を集中せらる、如き地位に立ち、一擧手一投足も輕忽にすべからざるの實狀なれば、增兵問題の如き重大事件に就ては、爲し得る限り列國、特に最初より諸種の關係深き米國の諒解を得置くの必要あることは論を須たず。我が政府が煩を厭はず屢々米國と交渉を開き、其の同意を得んことを庶幾ひしは蓋し理なきにあらず。然れども米國としては西伯利を過激派の手に委ね去るも固より直接の痛痒を感ずるにあらず、殊に我邦をして單獨に西伯利秩序維持の任に當らしむるは、將來ますく我が勢力を增大するの懸念あるを以て、我が增兵の止むを得ざるを萬々了知しながらも(そは近時の米紙所論の隨所に徵して知るを得)思ひ切って同意の回答を與ふるに躊躇するなるべし。而も我邦としては三萬餘の派遣軍をしていよく窮地に陷らしむるが如きは、至愚の骨頂にして、此際斷乎たる行動を執るの必要に迫りつ、あることは、上下の齊しく認め居る所にして、唯實行の機會如何を待ちたるに外ならざりしなり。今回米國が七千の駐屯兵全部に撤退を命じたるは、取りも直さず最初に我國と共同出兵を爲したるの趣旨を撤回したるものにして、畢竟英佛諸國と同じく、露國內政不干渉の政策に出でたるものならん。成程英米佛の如き露國と壤土相接せざるの邦に在りては、過激派の跋扈も、我邦の如きは全然其の事情を異にし、一朝貝加爾以東を過激派の魔手に一任し去るときは、直ちに滿鮮の藩籬を攪亂せらるゝの虞あるを以て、如何に多大の勞苦を拂ふも、如何に軍費を消糜するの要ありとも、獨力を以て極東三州の治安秩序を維持せざるべからざることこ、今更めていふまでもなし。聞く所の如くんば、我が增兵計畫は平時編制五個師團の兵力なりといふ、是れ略戰時編制の一個軍團の兵力なるが故に、固より十分といふべからざるも、之を從來の微弱なる兵力に比すれば、霄壤の差あり、是れなれば貝加爾以東の秩序を保維するの責を負うて差支なかるべし。時方に嚴寒にして、過激派の出沒するもの稍稀少なる際に於て、速かに增兵を決行し、以てそれぐの配置に就かしめ、春季の來るを迎ふるは、亦其の宜しきを得たるものなり。吾人は請ふ刮目して政府の處措如何を見んと欲す。

講和批准交換了
十日午後四時十五分

對獨講和條約批准交換は十日午後四時十五分終了せり(巴里電報)

批准交換光景

對獨講和條約批准交換終了に就き外務當局の說明に據れば十日午後四時十五分佛國內閣議長クレマンソー氏の挨拶に次ぎ獨逸代表レルスナー氏及び聯合側代表者は附屬議定書に調印し次で對獨條約第一回批准調書の作成に移り先づ獨逸代表レルスナー氏之に調印し引つゞき英國代表ロイド、ジョージ氏佛國代表クレマンソー氏伊國代表ニッチ氏日本代表松井氏調印し更に白義耳、波蘭、チエツクスロヴアツク、ボリヴィヤ、伯剌西、秘露、暹羅の代表調印を了せり尙英國植民地は加奈陀濠洲南亞聯邦の三代表英國の下に署名調印し茲に對獨講和條約の完全なる效力の發生を見に至れり(東京特電)

平和克復御親告
本月中に行幸

講和條約は十日を以て批准交換終了したるを以て陛下には皇室祭祀令第十九條に基き宮中賢所皇靈殿神殿及び伊勢神宮神武天皇山陵先帝山陵へ平和克復を御親告あらせらるべきが其時期は兩三日後ならでは確定せざるも本月中に行幸の事となるべきを以て伊勢神宮神武山陵先帝山陵には夫々勅使を御差遣あらせらる、趣き拜承す(東京特電)

調印公電到達

外務省公表=巴里に於ける對獨講和條約批准寄託書調印は十日午後四時十五分終了したる旨十二日午前九時四十分我外務省に公電到達せり(東京支局發至急電報)

調印と米不出席

講和議定書調印には米國は全然臨席せず米國大使は最高會議の傍聽人として出席せしも調印室には出席せざりき(巴里電報)

獨壓迫斷じて不可

チャーチル氏曰く聯合國は之れ以上斷じて獨逸を壓迫すべからず獨逸の崩潰は歐羅巴の形勢を匡救すべからざるに至らん吾人は寧ろ獨逸と通商を開始し其の復舊を圖らざるべからず(倫敦電報)

米禁酒團大運動

既電の如く米國禁酒同盟會は華盛頓を根據とし一千萬圓の資本を以て大規模の禁酒運動を開始す可く日本にも宣傳し來る模樣なり此團體は聲明して曰く日本が禁酒國たるに至らば東洋全部に深甚の影響を來す可しと(華盛頓電報)

所得稅法改正
稅務刷新一手段

[illegible]困難なると且は經費の關係もありて直ちに之が實現を許さゞる事情にあるを以て財政當局にては[illegible]

徵稅方法に關しては、外時に所得調査委員の不正行爲[illegible]大體現行制度を持續せんが爲[illegible]然るに從來[illegible]に立てるが如き事例も尠からず[illegible]ふと共に尙一層其機能の發揮に[illegible]に對しては所謂民衆思想の發達に伴ひ益々其內容の改善を希[illegible]の一層接近せしむる[illegible]

[illegible]しては未だ調査未了の點もあり今尙具體案の成立を見るに至らざる由なるが要する現行の所得調査委員選擧人を選擧し得べき有資格者は無記名に直接調査委員を選擧することゝなり所謂[illegible]補缺員の定數の二分の一として[illegible]入末尾の增加を生じたる[illegible]

[illegible]るを改正案にては單記式に依らんとするものなりと云ふ尙ほ所得調査委員選擧法の改正に伴な[illegible]も記は今議會に提案の運びに至るや否やは尙ほ未だ豫測し難しと云ふ(東京)

東清鐵道改正
運賃實施期

東淸鐵道は來る十八日より改正運賃實施に決せり(哈爾賓電報)

預金利上協議

東西銀行家は廿日頃預金利上を協議すべしと(東京電報)

臨時教育委員會

臨時教育委員會は十七日午後一時文相官邸に於て開會慶應、早稻田兩大學昇格問題を審議すべし(東京特電)

物價問題對當局反省

公正會は十日の總會にて物價問題に就き政府に反省を促す爲め貴族院各派交渉會を開會すると共に努力す可く決議せり(東京特電)

豆粕の暴騰

豆粕は九日十圓八十錢と空前の暴騰を示せり(大阪電報)

獨艦爆破決行期

スカパフローに於ける獨逸殘留艦艇は英國海軍專門家に依りて爆破せらる、事に決し多分本月中に之を決行す可し(巴里電報)

孟買罷業勃發

孟買に於ける總ての紡績工場は職工廿萬同盟罷業の結果閉鎖せられたるが是に次でカルカッタに於ても罷業勃發せり職工側の要求する所は賃金五割値上げ十時間勞働及食料增加等なるが昨年の騷動に鑑み軍隊は警戒に向け出動したるも騷動は遂に一般工場に劃策し諸新聞も亦同盟罷業を爲すに至れり(シドニー電報)

日本婦人勞働組合必要

田中孝子女史は西伯利丸の船中にて日本婦人勞働組合組織の必要なる事及び該組合が全然婦人に依りて組織運用されざる可からざる旨を發表せり(東京特電)

セ軍革命黨防止

セミョノフ軍はムイソワヤ迄退却し社會革命黨の侵入を防ぐに決せり(哈爾賓電報)

過激軍ペヂアンスク占領

過激派騎兵隊はペヂアンスクを占領せり(倫敦電報)

米西鐵拋棄意思

米國政府は西伯利鐵道管理權を拋棄する意思ありと(東京電報)

排日取締再抗議

帝國政府は支那政府に對し新年早々支那各地に於ける排日運動取締に關し嚴重に再抗議をなせり(東京電報)

日貨調査と抗議

皷近學生等は日貨排斥の爲め停車場稅關に張り込み連日日貨の調査を爲しつ、あるより之に對し日本公使館は抗議せり(北京電報)

三國合辦銀行開業

日支佛三國資本家の合辦に係る銀行は九日天津にて開業せるが資本金は四百萬弗にして日本側は大倉男百五十萬圓の出資を爲したり(北京電報)

撤兵は誤傳に非ず
輸送了は二月後

輸送船十二日頃浦鹽著

米國軍隊の西伯利撤退に就ては今尙誤傳なりと說く者あるも確かなる筋より聞く所に依れば撤退は事實にて其第一回輸送船は十二日頃浦鹽に著する筈なるを以て撤退は右運送船の到著に依つて明瞭となるべく米國兵の總數は七千に達し尙後貝加爾に駐屯せる部隊あるを以て全部の輸送完了は二月以後となるべし因に最初米軍撤退聲明が在西伯利米軍司令官に依りて爲され我が陸軍當局に報告されし時には他の方面即ち在東京米國大使館すらも尙何等報告に接し居らざる爲め東京に於ける有力なる米國人すらも撤退說を信ぜざる者あり是れに伴ひ撤退說を疑ふ新聞もありたる次第なり(東京電報)

第九師團出兵說

第九師團西伯利出兵說あり爲めに金澤市中は遽に色めき渡れり(金澤電報)

上海市會と商店

上海市會が支那人五名より成る臨時官設委員を速かに任命す可しとの確認を與へざれば支那人商店は十二日一般同盟罷業を行ふ可しと(國際通信=上海電報)

鮮人傭兵不穩擧動探知

東淸鐵道の朝鮮傭兵等はオムスク政府の崩潰を機とし七は獨立の旗揚げを爲さんと計畫しつ、ありしを我が駐屯軍に探知せられ事無きを得たり(哈爾賓電報)

滿鐵追加豫算

滿鐵にては十日附にて大正八年度第二次追加豫算二千四百八十八萬七千五百二十九圓の支出認可を政府に申請せるが前豫算と合して本年度滿鐵事業費豫算は一億二千二百九十六萬九千四百六圓となれり右追加豫算計上の理由は大正八年度豫算編成後物價の騰貴及び運送貨物の增加に伴なふ鐵道の改良石炭の需要增加に對する採掘擴張、鞍山地方の買收、社員の宿舍建築等なる

關東廳豫算

關東廳九年度豫算は既電の如く關東廳明年度豫算は一千四百十二萬圓にして八年度に比し五百五十萬圓の增加を示せるが新規事業の主なるものは遞信事業擴張費五十六萬圓(大連市街擴張費)百六萬圓(滿洲都市建築費十一萬圓(三年繼續總額四十萬圓)滿洲高等學校新設費十萬圓(三年繼續總額百七十八萬圓)大連無線電信局擴張費九萬圓(三年繼續總額十六萬圓)大連電話改良擴張費十九萬圓(四年繼續總額百四十八萬圓)大連上水第三期擴張費九十萬圓(二年繼續總額十六萬圓)大連[illegible]

[illegible]又市街擴張に伴ふ新規事業費二十萬圓[illegible](東京特電)

桑田慰問使談

大井司令官に面會し軍旨を奉じて西伯利派遣軍慰問の爲め恩賜煙草、角砂糖、清酒等を携へ十日午後三時出帆の御用船にて浦鹽に向へる侍從武官桑田大佐は敦賀に於て語る私は先づ大井司令官に面會し軍隊の狀況を視察し更に八十日間の豫定にて各方面の軍隊を視察し御慰問の御言葉を傳達する筈なり云々(敦賀電報)

遞信局の新事業
總額四十六萬六千六百餘圓

九年度に於ける遞信局の新事業中工務に屬する分として總額四十六萬六千六百五十圓計上せられたるが右は京城龍山電話合同統一に十二萬五千圓を、平壤局に於ける電話機械を復式交換機に變更し且つ線路も復線式に改良する其の費用として五萬五千九百圓を、各地の電話加入者一千餘名に對する增設費に十六萬一百十圓を、各地の電信及び電話市外線新設費に十二萬五千六百四十圓を計上されたるものなりと

京城龍山の電話合同統一
九、十兩年度の繼續事業

京城龍山電話の合同統一は久しき以前より懸案となり居りしが遞信局にては九年度より之を實行するの案を立て九、十兩年度の繼續事業として總費額廿九萬七十圓を豫算せるが愈々之が豫算中に年度割十二萬五千七百八十七百七十圓を計上し九年度に於ては現今の通話を一日も休止することなく施設せざるべからざる狀況にて[illegible]に新たに京龍間に一分局を設置することとなる可く九年度割額十二萬五千七百七十八圓は主として機械の購入費の一部に充てらるべく兩地電話統一の結果として龍山局加入者の電話料金年額六十圓を京城と同額七十二圓に値上せらることとなるべしと

警備機關擴張
人員增加=警察署增設

大正九年度警務行政費としては警察制度改正に伴なふ警備力充實の爲十三百七十八萬六千餘圓を計上せるが警察官署の新設增設總額二百五十八萬三千餘圓を計上し警備機關擴張に依る警察官署人員數二萬二百四十九名となれり又京城管內に高陽郡の一部を包含する事となりし結果新に外警署二署を增設し京城を六警察署に區分するの外高陽開城の警部派出所を釜山に水上警察署を增設し新に所在地を置くべく更に警務機關擴張に伴ふ各道署の新設の外は從來の地方を主としたるも制の警務機關實施すべし警備の須要なる所を置き之に至て[illegible]城に十箇所平壤に四箇所の派出所及全道に八百三十九箇所の駐在所を警務機關地方中心とし、爲めに一面一駐在所の方針を全部都市地中心として架設するが爲めなり

笞刑廢止と自由刑
經常費計上=監獄擴張及新設

笞刑を廢止し之に代ふるに自由刑を以てする事となりたる結果監獄費の膨脹を來し總督府にては愈々大正九年度より[illegible]に設置

[illegible]同時に職員として典獄五人典獄補三人看守長三十八人(內朝鮮人三人內地人二十七人)通譯生二人監獄醫五人教誨師三人看守三百八十九人(內朝鮮人百六十七人內地人二百廿二人)囑託醫五人、囑託教誨師七人[illegible]

[illegible]せば

[illegible]を以て監獄[illegible]

酒稅煙草稅引上實施期

總督府に於ては大正九年度に於ける諸般の施設に伴なふ經費の膨脹に應ずる爲め一部の財源を酒稅及び煙草稅の稅率を引上げ[illegible]年度替と同時に之を實施して之に依る歲入の增加を計る事となれるが近く右稅率改正に關する制令の發布を見るべしと

新銀行許可書
資本金五百萬圓・抄進

京城銀行並に十友會社を北幹とする新銀行の計畫は屢報せしが最近發起人の協調一進し近く銀行令による當局の許可を出願する由なるが新銀行は多分朝鮮實業銀行と稱し資本金五百萬圓とすべく右株式は京城銀行株未拂込みを徵して廿五圓拂込みとし又十友會社も金額拂込みを徵する由につき右の拂込み額を新銀行株式の十二圓五十錢(第一回拂込み)に換算すれば京銀分二百萬圓十友分五十萬圓となり殘餘の二百五十萬圓を發起人(五百株以上)賛成人等にて引受け一部を公募すべし尙ほ銀行は本店を現在の京城銀行に置き一般銀行業務殊に株式金融に主力を注ぐ事ならん

南鮮鐵道創立
資本金一千萬圓

朝鮮鐵道株式會社は株金第一回拂込終了につき來る廿日午前九時より東京麴町區有樂町生命保險協會に於いて創立總會を開き左記事項を附議する由

(一)創立に關する事項報告(二)創立費支出承認(三)定款變更並に承認(四)取締役監査役の選擧(五)商法第百三十四條による調査報告

保險出願近し

釜山大池京城釘本氏等を中心とする資本金一千萬圓の朝鮮火災保險株式會社計畫は最近着々進捗し近く月內若くは來月に入らば出願の手續をなすに至るべし

京城會議所移轉

京城商業會議所は既報の如く十二日長谷川町の新築公會堂內同會議所事務室に引移りたり

京商評議員會

京城商業會議所にては來る十六日午後二時より評議員會を開催し大正九年度豫算案、定款改正、退任評議員中補缺の件、規定改正の件、公會堂借入金に關する件等を附議すべしと

昌德宮訪問

總督府齋藤總督は十二日午後三時より守屋秘書課長、藤波通譯官を隨へ新年始めて昌德宮に伺候李王殿下に面謁數刻懇談の上四時退出歸邸せり

朝鮮金融界

鮮銀營業當局の談に新春に入り內地金融緩和の模樣あるも未だ事實は未だ樂觀し難き狀勢にあり十二日東上中なる片山理事よりの來電によれば金融前途の見據つかず樂觀は早計なりとあり蓋し越年は比較的圓滑に經過し銀行業者も稍安堵の態を示し無下せしなるべく手許に準備せる餘裕の放出あり旁

短期資金

の引緩みを見たるもの、如きも日光公債の拂込みありたるが如く少からず控へ居り事業會社の起債も發行計畫も少からず控へ居りの需要莫大のものあり英債償還の如きにては中々緩和し難きにあらずや內地の大勢然りとし朝鮮金融界の現勢を見るに鮮銀券の收縮あれど金融の緩和來れりとは尙ほ目し難き點あり輸入超過の趨勢は內地送金を多からしむる事情あり一月より二月に亘りては米穀資金の需要多かる可し

米穀出廻

の不振は綿布代金の回收を何程か遲滯せしめつ、ある事情あり新事業株金拂込みも前途に相當額を要するにつき何程か越年後も緩み傾向を呈し居れる事は事實なるも尙ほ目立ち來らず從つて金利も居据りの體にあり思ふに一月末より二月の舊正經過までは尙ほ相當の緊縮狀態を繼續するものと見て差支へなからんか

鹽田增築完成と採鹽量
民間製鹽歡迎

總督府の來年度鹽田の增築計畫は既往の如くなるが右完成の曉に於て幾許の生產鹽を得るやを見るに鹽田は築造後直ちに充分の採鹽を爲す事能はず暫くも四五年を經過したる後初期の採鹽を見る事を得べし而して朝鮮は既往の例に徵し天候良好なる時に於ては一町歩當約十萬斤の採鹽は困難ならず天候不良其他の關係あるも平均八萬五千斤の鹽を得る事は容易なり如上の如き狀態なるを以て從來の鹽田千三百九十余町歩に新設の鹽田完成し充分に採鹽能力を發揮するに於ても漸く四億斤足らずを得るに過ぎずして需要と[illegible]

鮮銀援助程度

同行當局者の談に曰く會社組興の鮮に株價公定機關を缺くは大なる遺憾なり新銀行は生るべき株市場と密接の關係を有し京城銀行の改造とも目すべきものにつき鮮銀としては京銀に融通せしより以上株式金融間接援助の意味よりも相當好意を行ふ事となり居れり

漢銀增資案
六百萬圓

漢城銀行にては來る二十三日開催さるべき定時株主總會に於て問題となり居りし增資額は愈々六百萬圓に內定せるを以て定款改正を行ひ三百萬圓を六百萬圓とし株數も從來の六萬株を十二萬株に改むべく同時に內地人をも株主となすの可否に就き附議せらるべしと

韓銀業績良好

株式會社韓一銀行の八年度下半期定期株主總會は本月十九日谷川町銀行集會所にて開催の筈にて貸借對照表利益金處分案の

[illegible]同行の營業は同期の容額を求むべく同期の業績は一般財界膨脹時に際し資金の需要殺到し同期間を通じて終始繁忙を告げつ、決濟期も格別異常なく經過し業績良好にして同期末預金額三百十九萬六千圓貸出額四百四十萬九千餘圓を示したり株主配當は前期同樣八步なりと

獸醫部長會議

陸軍省にて三月中旬全國獸醫部長を召集し各種事項に就き會議開催の筈なるが朝鮮よりは軍司令部林二等獸醫正第十九師團より中河原二等獸醫正第二十師團よりは試村三等獸醫正列席する事に確定せり

○赤池警務局長張宴 赤池警務局長は十一日午後六時より清華亭に總督府出入記者團を明月館に招待張宴せるが主人側よりは赤池局長以下丸山事務官白上高等警察課長、千葉京畿道第三部長、古橋警察官講習所長、國友警務課長、藤原事務官等出席盛會なりき

○旅團長視察延期 盛德其の他南鮮各地守備隊狀況視察の爲め十一日出張の豫定なりし鬼田龍山旅團長は都合に依り數日延期したり

小宮前次官近什 在逗子 小宮 保

庚申元旦
い、か、か、か、加々健身神。喜樂台頭物候新。野服龍胖鶴柏酒。閑居始謳太平春。

和韻寄答 此經 青浦
昨夜東風慣夢涵。梅花今曉入詩新。料知喜鵲台歲恭。先古湘南萬里春。

人事消息

▲木村雄次氏(鮮銀理事) 歐米視察中の所十日神戶に歸着十一日朝東京に入れる旨鮮銀に入電あり

▲本間美禮氏(鮮銀營業部長) 木村理事と同行十日歸朝の報に接し十一日夜歸京すべし

▲松崎時勉氏(朝鮮專賣局長) 伯父危篤の報に接し十一日夜鹿兒島へ

▲橋本左五郞氏(新任水原勸業模範場長) 支場及一般農事狀況觀察の爲七日附を以て平南北、京畿、江原咸南の各道へ出張を命ぜらる

▲千坂智次郞氏(海軍中將)十二日朝入城朝鮮ホテルへ

▲小松淺五郞氏(慶尙南道第二部長)十一日夜入城

▲木木辯護士 十一日釜山へ

▲佐藤騎兵中佐(前國侍從武官)他守備隊視察の爲め十一日安山に向け十七日頃歸城の豫定

▲伊木副官高級副官 沙汰にて大邱出發中の處十日退院

▲吉澤師團副官 歸省中の處二十日頃歸城すべし

▲高橋禮次郞氏(步兵少佐) 步兵第七十七聯隊より步兵第四十三聯隊大隊長に轉じ右赴任の爲め十日京城十一日退任

▲南顯竹次郞氏(公州守備隊附少佐) 若義州守備隊附より光州に轉じ在中告の爲十二日京城十三日朝退任

▲猫瀨氏(東拓奉天支店長) 十三日朝退任の豫定

▲總督夫人 十一日午後二時美術品製作所に到り三時歸邸

▲森警務局事務官 十二日夜歸任

▲下部保安課長 同上

▲細井肇氏(前自由新聞記者) 十二日朝出發內地へ

▲深水清氏(京城學校組合議員) 多年京城に在住し公共事業に盡瘁せし氏は今回當地を引揚げ郷里熊本へ歸還する事となり廿日過ぎ出發すべしと

寸鏖

やがては世界最大の海軍國たらんとの意氣あるにまかせ列強海軍を太平洋にかけ尨大な艦隊を太平洋に配置して威勢を示した米國海軍は頗る堂々たるものである▲ところが愈々となつて見ると何の軍艦も〳〵兵員缺乏大きな困難は二進も三進も動きが取れぬとは之亦たしかに世界の脅威だ▲是では千の堅艦も萬の艦隊も案山子同樣で肝腎のニラミも利かぬ事をぴたゞしい▲大西洋を重艦でせき止めても英佛が何とも感ぜぬ樣な顏をして居たのは此處を見込んでの事だらう▲遠英太平洋岸にズラリと並んだ堂々たる威容を拜見させて何處かの國が肩を脅かすには將來かも知れぬテ▲原子の大不景のは悲慘救國の形式的道德だが寧ろ或は道德の反面を繕で全く人生を味識し得ざる結果かも知れぬ▲正義人道の安德鄭夏の家たる米國の禁酒令を見給へ法の範圍には狂へず法を狂げてまでもビールならば飲むでもい不體裁極まる缺陷を暴露して居る▲人生は法律を超越すべく人生を愛するものは法律の有無に關せず禁酒令など無くても濫りに暴飲はやらない▲安留協調保留をやらぬ者は現在の世界的な大政治家でないかも知れぬがさりとて權威のない保留や協調にも困つたものだ▲コルチャックがデニキンに政權を讓ると デンキンはすぐまたロマノフ キーに引き渡す▲ロマノフスキーが今度は何處に讓り渡すか知らぬが東露南露の反過激派は[illegible]

[illegible]り歸るのは何時でしやう――來の報告によると西伯利に在る獨[illegible]でゐるのが八千名露軍の管理し[illegible]軍もニコリスクに一ケ所もつて[illegible]る、だから一概に西伯利の獨[illegible]れてゐるのはニコリスク、ウスるに任した舊兵舍で漸く雨露を[illegible]ご衛生狀不良となつて少しの氣候で、しかもそれを隔離する場所[illegible]發狂する者が多い[illegible]皮肉なのは同じ土地に日本の收容所が存在してゐる事である日本では將校階級の者には[illegible]する賃金を給し出來得る限りの自由と撫藉を與へてゐるから現在の露國民より反つて幸福な[illegible]泣き付いて來るさうだが一々それを聽き居てゐては限りがない[illegible]れが先方へ屆いて居るか何うか判らぬ

禪堂生活（廿八）
人間の改造

雲水の本領

其年の雨安居には、聖侍寮の寮頭になつた。聖侍寮は一名侍者寮とも云ひ、禪堂の風紀衛兵である。兎に角五月蠅役である、禪堂の大衆の茶から草履までも世話してやらねばならぬ。入藏（外出の事）の許可、洗面の水、禪堂の掃除、點燈消燈、病僧の煎藥何くれやつてゐる間に麥蕩作務が來た。是が山作務よりもつと辛いのぢや、貰ひに行つて貰れなけりや取つて來る譯にゆかぬ、素手で歸るやうな意氣地のない事は猶更したくない、拜まんばかりにして貰つたもの、三日目位からもう肩が膨れる、身體中が痛くなる、起床の時の蒲團が棚に上らない位だから略察せられるであらう、樗の中央に座蒲團を卷付けるやら、其珍妙な姿は、眞にこれ南宗の好話題である。暖くて痛がゆく油汗を流しつつ彼の石段を上る苦しさ、腹はペコ〳〵として力なく泣たいやうな氣もする、今は鳥原は水源地にあり、石井麥野に新も家が建並べられて麥なんか見やうと思つたつて無くなつた。十年經たない內に變れば變つたものだ。然し十年と云へば一昔だから、變るのも無理はない。嗚呼麥蕩作務、思ひ出してもゾツとする、部人士は麥蕩なんか何にするかと思ふであらう。夏帽子の材料にするのでもない、飯くなかれこれが飯粥を炊く薪ぢや、彼の大きな鑑の下で燃ゆるパチ〳〵の音、今は麟祐寺でも見ることは出來ないだらう。それで今の雲水たちは、此の麥藁作務は知らぬ、それも其の筈だ、既に布設された彼の電車軌道、彼の立派な麻平野の町並、あんなのは影もなかつた時だもの、其の擔き馴れぬ肩の痛さにも妙な格構をするさ、田吾作の娘がこれを見て『あれまあ何ぞいや、彼の風姿は、可愛想に、妾等何人子供が出來ても坊主にしなくてんわ』と嘆息するといふ有樣、流石の猛もそれを聞いた時は悲觀したね、薄志弱行の輩は大概これで腰を折つて仕舞ふのだ。夕方は當番があつて、風呂沸かしをやる、傷が早く治るやうにと食塩を投入する、それが傷に泌み込んで痛さたらない、嗟、雲水生活は斯く苦しいものだ。そして藥石（夕食のこと）が濟むと喚鐘が出る、今迄縮のやうに疲れきつた身體も、此響を聞けば屹然となるものだ。實に勇士は響の音に目を覺すとは此の事だらう。こんなに肉體的には辛苦がある、けれども、精神的には自ら光風霽月がある、本地の風光また言語に絕するの妙境界があるからの、此處が雲水の本領ぢや。

米國の過激派思想（三）
勞働問題の共産主義化　黒人の自覺と過激化

在紐育本社特約員　劍橋生

さて之等海外移民を中心として行はれる共産主義運動の外に

黒人の運動も 當局者の頭をなやます運動にちがひないけれども黒人は元來は社會的に虐待されてゐる人種で私共より見れば何が故に黒人の運動が過激であるかと云ひたい位である今當局者が危險思想なりとして黒人の雜誌より寫し取たものを譯出して見よう、戰爭のため海外に行つた黒人が外國で經驗した社會的經驗は今後も多く繼續するであらう、フランスの生活で經驗した愉快な生活は米國で眞に徹底的に社會上政治上、經濟上の平等が得られる迄は忘れられない樂しい記憶として殘るであらう、つまり白人が受けると等しいあらゆる

愉快と權利 を得ようとする運動である、約言すれば、あらゆる點で黒人は町でも村でも飲食店でも料理店でも白人と同じ待遇をフランスで受けた、云ふ迄もなく佛人は黒人を遇するに英國人、ベルギー人に對すると同様であつた、佛人は一度黒人の良い性質を知ると何れも其家庭を公開して黒人を迎へた、佛人と一所に酒も飲めば食事もした、曾てブレストで佛國兵對米國兵の間に爭鬪が行はれた時も米國黒人だけは何等の恐れなく市街を大手を振つて歩くとが出來た、佛人が如何に黒人を遇したかの最も良い證據は黒人にして佛國婦人と結婚した者が千乃至二千に及ぶので見ても明白であらう、要するに黒人は佛國であらゆる

社會的平等を 經驗したのである、以上が當局者が黒人中の危險思想となすものである、之では頑固な日本の警察でもまけさうな頑固さである、余をして言はしむれば黒人の運動は當然なる運動である、彼等は人間として受くべき普通の待遇さへ受けて居ない、間違つて居るのは米國政府、米國人民であつて黒人では斷じてない、何等の國家的野心なく人道主義の高遊な立場から人種問題を叫ぶことは刻下の急務だ（了）

多事なりし平南警察界
中野平南第三部長談

大正九年の始に當り所感の一端を述ぶれば大正八年に於ける我朝鮮の警察界は頗る多事の年であつた年內に發生した主なる事柄を擧ぐると三月以降の騷擾、八月の制度改革、九月以降の虎疫大流行、旱害の救濟問題冬期に入つて流行性感冒の猖獗等であるが其の內で最も重大な事件は騷擾事件であつたが詳細の事は當時既に世間へ發表されたから省くとして次に例の虎疫であるが之は南滿洲地方から南下して平安南道の西南部海岸地方より侵入して漸く蔓延の兆を呈し警察官の不足を痛切に感じた幸ひに平壤憲兵隊長以下本道各郡に散在した憲兵並に地方官民の誠意ある援助に依つて辛うじて難關を切り拔けたが一方不逞鮮人の魔手は民心を攪亂し荒唐無稽の流言蜚語を放つて之に惑ふ者が尠くなかつた

不逞鮮人の妄擧 十月卅一日から數日に渉り平壤に於ける小集團のデモンストレーシヨンが再擧せられた事は誠に遺憾とする處であるが嚴重の警戒を加へたので其の波及が郡部地方に至らず一部少數の學生のみに局限せられて大事に至らなかつたのは幸ひであつた而うして引き續き警戒が嚴密となつたので今度は例の地下室的の陰謀が企てられて來た彼の上海の自稱假政府や其他在外不逞鮮人團は朝鮮內の民心が動搖せるに乘じ朝鮮內の不平の徒黨と結んで種々の秘密結社を設けた其の目的は妄動を繼行する名目の下に（一）同類の結束（二）示威運動の再擧（三）不穩文書の秘密出版（四）獨立運動資金の募集（五）青年の海外誘出等で結社の名稱は色々あるが其目的は大同小異である最近平安南道で是等不逞の徒黨を檢擧した主なるものは概ね左の通りである

▼大韓國民會　平壤に本部を置き平壤耶蘇學校生徒全部を引入れ尙全鮮に渉りて會員を募集する計畫であつた本會の幹部は悉く耶蘇教の牧師長老、助事、所屬學校の教師である

▼大韓獨立青年團　平壤に本部を置き青年學生二百名を以て成立せるもので其首謀は平壤に於ける耶蘇教所屬學校の教師及耶蘇教傳道師等であつた

▼上海假政府交通部關西支部　平壤に關西支部を置き上海假政府と聯絡して獨立運動に關する諸般の畫策を爲す陰謀團で其首謀者は前項青年團の幹部と共外耶蘇教徒の主なる者であつた

▼新民會　在間島律族中央總會派遣員及滿洲軍政府召集官と自稱する不逞鮮人と結托して獨立運動資金募集を目的とする秘密結社で其首謀者は耶蘇教牧師及所屬學校教師であつた

▼上海假政府吉林軍務支部　滿洲より來の一鮮人が書簡用卷紙の使殘りを携帶して居つたが色々取調の結果其

卷紙を焙ると秘密の通信文 が現れることが分つて之の端緒に吉林軍務支部長と稱する排日鮮人の首領が朝鮮に密使を派遣して慶尙北道の有力者から獨立運動資金を募集して

一萬餘圓を詐取 した事實に對して之を檢擧した平壤、大同、中和、江西各地で獨立運動資金募集と稱して短銃を携帶せる五六乃至十名內外の不良青年團數組を檢擧し短銃其他證據物件を發見したが此の徒黨は多年海外に流浪した不逞の徒で全く時局を

利用して强盜を 働くものである右の外彼等不逞鮮人はあらゆる手段方法を以て民心を煽動して其間に乘じて多額の金錢を募集せんとするを發見した事例は澤山あるが皆て其の金が

如何に費消せらる、かと云ふに現に前に述べた吉林軍務支部長が慶尙北道の有力者から獨立運動資金と云ふ名目の下に集めた金の半額は中間取次者の爲めに酒色に消費され他の半額は軍務支部長が將來衣食する爲め吉林附近に於て土地購入費に充てられて居る斯んな密の爲めに金錢を

貢ぐ人は氣の毒の至りである而して前述の不逞鮮人團に耶蘇教徒の關係者多きは甚だ遺憾である

東蒙地理談（三）
奉天滿鐵公所　鎌田彌助

世人往々にして蒙古は平原或は沙漠より成り立ち、河川は總て濁流ならんと想像する者あれどそは興安嶺の秀麗と地質とを考慮外に逸したるの罪にして、高原重疊を以て成り立つ興安嶺の美觀は洵に言外に絕し、其の間に白羊の斷々として碧瑠璃の空に映發するの大觀は曾て青年時代に瑞西放羊の美觀を描きし散文詩を讀みて恍惚たらしめられたる我輩は偶々其現實を此興安嶺山中に發見し、思はず會心の笑を漏らしたることがある。空晴れて氣清き秋の牛に肥馬に跨りて此山中を旅行する者は馬蹄に蹴散らる露滋き花野を必ずや物あはれと見玉ふべし。

又或者は誇張的なる旅行記、報告書等に誤られ直ちに興安嶺の劍峨突屹を想像する者もあらんされど前述の如く興安嶺は海拔こそ高けれ一個の山彙にして幾多の高原重疊し、高原の重疊即ち興安嶺と謂ふを得べく興安嶺を横斷する旅人は興安嶺が何時來りて何時去りしかを感ぜざる程道路は多く平坦にして或る峠の如きは平均百分の二の傾斜を有するに過ぎず、野砲の通過をしとせざるものさへあり。

森林は興安嶺山脈の北部地方に限られ南方にて森林を形成せるものは熱河圍場地方のみなりと言はれて居る。蔽北部森林地帶は所謂蒙匪巢窟にして民の敢て之に近づく者なく、樹木伐採の如きは全く命懸けの冒險事とされて居る。若し此地帶に突入せんとせば是非『一個少隊位の護衛兵を要し』而も尙十分なりとは言へないさうである。地方官憲にても吾々外國人のかかる危險地に入込むを好まず、事件の出來を恐れ努めて防壓手段に出づるの傾向あり、搗てて加へて護衛兵も人煙絕無の斯る邊僻に屬從するを嫌厭し且つ恐怖し頻りに讒言を揑造して其の中止を迫ることを常とする。

京城株式界
春高豫想

新春の京城株式界は漸次活況を呈し來る機運なるが何分株式界の商勢は金融關係に左右さるゝ事多くいかに

實質良好 なる株式も銀行の貸出振らゝに於ては到底伸力を期待し得ず然るに新春に入り鮮銀券の大收縮は各銀行手許の餘裕となり春の金融界は當然緩漫なるべしとの觀測多きにつき諸株の騰勢は免れ難かるべし新當り仁川取引所株の如き昨年末を以て缺損補塡に充當する利益四十餘萬圓を擧げたるにつき一月以降の收益は積立並に配當に充て得べく假に一箇月の直賣高を五百萬石とし其の手數料を七萬五千圓と內輪に見積るも三月末を以て締切る當期の決算には廿二萬五千圓の利益を擧げ經費を差引くも最低四朝の配當は可能と云ふべく株價の百八十圓は六分の利廻りにつき割安なりと云ふ途に掛入並に從期の

收益增加 を見越得るに於ておや此の株の前途は最も興味を繫ぎ得べし鮮銀の倍額殖銀の三倍增資は既定の事實にて株價は增資相場を現はしつゝ、愈々株主總會の議決を經ば尙ほ三十圓內外の伸方即ち鮮銀二百八十圓殖銀百四十圓見當の相場を現はすならん東拓株は增配見越にあり但し東拓株は增配なくとも實質を買ひて騰に現在の株價を保ち得べく安東信託株は新春とともに擡頭し來れるが同所の收入は株式賣買の賣買にて一日千圓を下らず一年三百日の營業とし卅萬圓に達すべくさすれば五十萬圓拂込に對し六割の利益にて四割配當可能と云ひ尙ほ前途に新計畫もあれば時價の三十四五圓は大割安と見得べし唯鐵道株は何れも

滿腹氣味 にて賣買少く森林鐵道株の工業會社株割當てを買はれ居れる位なるが要するに鐵道株は補給の確定まで花々しき商勢を見せざるべし東亞株は實質採算共に有利なるも京城の實在株多きにすぎ且つ東亞株は何れも損をせざるものなしと云ふ不人氣株となり居れるにつきその人氣の盛返しは困難ならんかと

◉育兒の心得

便の狀態と熱に注意して手當を怠らざれば小供はらく〳〵育つ

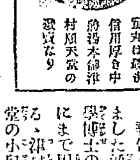
小供は玻璃の器を抱くやうな物で長子は育たぬと云ふ位六敷いもので御座います。されば急激な病狀の時には必ず小兒專門の醫師に診せるのが肝心ですが平常の心得は

▲便の色と熱 とを絕ねず注意して、少しでも異常のある時は直ちに手當をしなくてはなりません。便の色は腸の故障が能く分り、熱は內臓のドコかに病氣がある事が知れます。此二つは一番大切な事です。便が惡いのは所謂不消化の爲で、幼兒なれば乳を吐き元氣がなくよく泣きます、熱がある時は母親の乳房でも熱く感ぜられますが病狀としては目がドンヨリと勢ひがなくビク〳〵と身體を震はせます。又蟲氣疳性は勿論、俗にいふ惡熱も矢張手當を施し、小兒を樂にしてやらなければなりません。

▲安全に治せ 大人の病氣なれば少し位ひ强い藥を用ひても差支へないが小兒はさうは行かない。故に小兒の體質によく適ふ安全な專門藥を母親は常に備へて居て始終注意をしながら少しでも異常を認めたら直其の藥を服ませる樣にさ、腸や熱のヒドク高じない內に治すやうにしなければなりません

西洋婦人は皆此の育兒用の常備藥がありますが、日本には未だこれに該當る理想藥がありませんでした。香澤山あるには有りますが、此頃でお話の出來ない小兒ですから效たか效かないか判然分らない爲それで濟んで居た位不完全な藥が多いのでしたが、然し實際育兒上の事を眞面目に考へたらそんな事では濟まされません既に注意深き

▲母親方 は最近發賣され先日も報告して置きました通り醫學博士の家庭にまで用ひらる、神村賴天堂の小兒藥靈丸の有る事を御承知でございませう。此の藥が醫者の投藥上と云ふのは虫氣、疳、乳吐き、腸を疾たる時及び發熱等の時に用ひて質に好く利くばかりでなくそれと同時に小兒の活力を增す樣に强壯劑を製劑してあるので病氣でなくても痩せた虛弱な小兒などには常に折を計つて用ふれば目に立つて丈夫になり虫氣、疳性や腸の工合即ち消化を整へるはすぐ醫しから服れる藥です



小兒のくすり 靈丸は
小兒の虫氣、疳、便の色ワルキ時、乳はく時に用ひよ
定價 二十錢・五十錢・一圓・二圓・五圓
靈丸は最も信用厚き中[illegible]村賴天堂の發賣なり

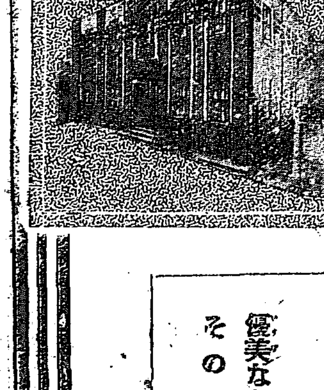
△李王職御用　△鐵道病院御用
模範全乳
場主獸醫肥塚正太
東亞牧場
（電話五二二番）

笹山章著　ウツボ屋書店發行
新案獨學　イロハ辭典付
鮮語自在
ポケツト形二百頁　定價金六十錢（送料貳錢）
上製クロース　定價金八十錢（送料四錢）
發賣元　京城日報社代理部

最新梅毒根治藥（六〇六號に匹敵す）
太陽丸
東京の中心に多年梅毒專門を以て社會を救濟せられつゝありし專門大家早川先生が梅毒根治に就き十數年間研究の結果發明せられし本劑は其効果顯著なるとは先生の保證せらるゝ處なれば本病に苦みつゝある人は速に一劑を試みらるべしハガキにて申込次第代金引替にて發送す
定價（四日分金六十錢）（小包料共）（九日分金一圓廿錢）（特約店募集）
賣出元　東京日本橋通三丁目　早川醫院研究部

精撰香油
のばし油
のばし油
皮膚すき油、びん附、固練
本舖　井善　東京
支店　藤森源之助　大阪南久寶寺町四丁目　電話船場一七八番

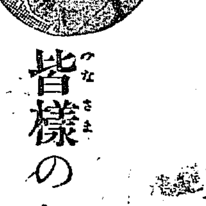
冬!! 旅行ニハ是非
□東京特製トランク
□弊店特製トランク
□柳織專賣トランク
□二枚續毛布及ヒザ掛
□其他旅行用具各種
京城本町一丁目
高木鞄店
電話二五四番



美顏クリーム

桃谷研究試驗所創製

光榮ある美顏化粧料三十六種の內



皆樣のお喜び

◆舶來の上等製品と比べてみて……

▲色の白さ
これは誠に純白な、清淨な白さです。見るから氣持のよい白さです。

▲質の輕さ
クリームの品質は質が輕い程好いものである事は、皆樣御承知の通りですが、此クリームの質の輕い事は舶來品に勝つてゐます。

▲匂ひ
香料の配合の妙味は此クリームに充分に現れてゐます。お好みにも依りますが、先づ十人が十人、よい匂ひだと仰せられます。

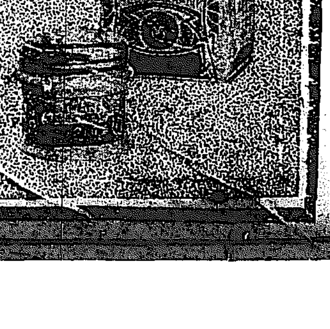
▲ねばり氣
美顏クリームには粘り氣が殆どありませんから、附けた後のさつぱりとして氣持のよい事は外に類がありません。

▲日燒アレ
皮膚の荒れを防ぐには此クリームをお用ゐになるのが確に最も良い方法の一つです。それから日燒を防ぐには此品は無くてならぬものと言はれてゐます。美顏クリームはます〳〵好評を博してゐます。

美顏粉白粉

優美なお化粧その秘訣

此クリームを薄く延いた後へ、粉白粉として此上なく分子の細かな、そして白さと光澤との殊に美しい美顏粉白粉を刷き附きたお化粧は、得も言へず優美なお化粧美を現します。尙美顏粉白粉には、純白、肌色、淡紅色の三種があつて、皆樣のお喜びを博して居ります



國境横斷旅行(九)

鴨綠江を下りつゝ

孫秉熙は奉天に居る! 不穩の噂を生む三源浦 韓族會發行の韓族新報

獨立軍發行の旅行劵が無いと朝鮮人でも支那地は歩かれぬ

中江鎭にて 特派員 伊藤韓堂

朝鮮騒擾の巨魁孫秉熙が西大門監獄に拘留中なるは天下隱れもなき事實なるに此の地方にては彼れが[illegible]されたるが如きは[illegible]の皮で實は彼は

奉天に在りて

獨立軍の指揮監督に任じてをると稱せられてをる恰度彼れが東學黨亂後清國に逃け後東京に隱れて居つた當時孫は教統を繼承して今天に在り近く下界すべしなどの説が流布されたのと同樣である。而も不逞徒輩の隱れたる勢力盛んなる此の地方に在りては是等は事實として一般に信ぜられ些しも怪しむ者がないのである。

豈に情けない

次第といふべしだ是等の流説を生せつゝある韓族會並に假政府派(南滿洲大韓民國獨立團)の本源地は此の地から北へ五六十里の地點たる柳河縣三源浦で韓族會は中央總長李拓、獨立團には趙孟善といふ者が指揮の任に當り韓族會にては以前新興學友報と稱する謄寫版刷の月刊雜誌を刊行して居つたが今年五月以來は

韓族新報と云

ふ美濃版大二頁の新聞樣のものを一週二回づゝ發行してをる九月二十四日附發行に係る第二十七號を見るに『成功と失敗』と題する論説を掲げ九月二日南大門に於ける爆彈投下事件を論じ失敗は要するに成功の母なり吾人は姑く隱忍して成功の機を待たざるべからずと結論してをる。又雜報欄には九月六日上海臨時政府に於て總理大臣たる李承晩を

大統領に推薦

したる電報のものを掲げ又平壤に於ては新總督が内鮮人同視、鮮人官吏優待等の諭告を發したるに付き同地[illegible]にて謝意を表する爲國旗掲揚を慫慂したるも我憂國之士は一齊に之を峻拒せりなどゝの雜報を掲げてをる。此の地には兩[illegible]を掲げてをる。此の地には[illegible]共に兵を置き鮮地より誘致した○○○をして教育に任じ土兵を訓練して各地に派遣しつゝあるが其射撃標的の如きは

朝鮮統治上に

少からぬ功勞ある故○○公や○○伯や○○○伯の藁人形を以て充て、居るさうである又鮮地から拉致した農民や彼の方面で鮮地に遁走の處ある者は哈爾賓より以北の地に逐つて縶兵させ日本の密偵らしい者は發見するか或は命令に服從せざる者は直ちに銃殺するので此の方面即ち帽兒山を中心とする中流地方より對岸に遁れ去りたる者又は拉去されたる者の内で

銃殺の厄に遭

ふた者も少くない 鮮地在住の鮮人は是[illegible]相である。等の噂を聞いて居るので若し彼等に誘引狀を發せられた場合は暗殺を恐れて假令自分が投入せざるも相當の金品を密に送つて只管其甘心を請ふのである對岸支那地に於ける彼等の勢力は素張らしいもので暗々裡に支那官憲が援助する所から自由自在に横行し獨立團の名を以て旅行劵を發行し其證據を有せざる者は朝鮮人と雖も旅行は絶體不可能で江岸より僅四五里の奥地に行くことさへ危險である。況んや内地人に於てをやである。

今春流行の 地と色

一般に落付きを見せて來た

平和の第二年を迎へた來衣の流行は大分落ち付きを見せて來ました地質は古濱縮緬が全盛で

地色は 一般に黒が持て囃され、若い方は矢張紫系統が多く、古代紫や藍氣勝ちの紫が喜ばれ、緋紺は廢れ氣味になりました特別の派出好みには、臙脂系統のもの、グリーン系統のもの、空色なども迎へられ

彩色は 小さい處に澤山の色彩の美を見せて總體から見ると以前の樣にけばけばしいのは全く跡を絶ちました、江戸褄でなく裾模樣でなく、中間の前模樣が多くなつて、勅題の田家の早梅圖案は一般向きで、淡い好みは古代更紗や名物縞の色紙散らし、陶器模樣、古代樂器などを好まれ、令孃向きには柳櫻に手毬、追羽根など肩模樣に散らしたのが多い樣です

帶地は 一般に著物との配色上からか白地が第一で、變り色も薄い色が喜ばれ、反對に模樣は暖かさうな綠色を用ひたのが多く、松と梅、菊などが矢張り澤山用ひられて居ります

緩衝機 (投書歡迎)

體育協會へ

龍山 一運動狂

大正八年は體育協會が成立して朝鮮體育界の振興を期すべく基金まで募集して夫々着手し始めた記念すべき非常に喜ばしい歳である然るに其結果は却つて運動會に從ら[illegible]な期待を附した事になつて吾人の期待した程の事のなかつたのは吳々も殘念である大正九年度は充分體育協會設立の趣旨を貫徹して欲しい吾人は大正九年度の體育協會の事業として左記の各項は是非非實現して戴きたい

一、内地の日本體育協會と連絡を執る事

一、競走部を設け各種競技を奬勵し一般的に公開されたし

一、一般に體育運動競技を理解せしむる爲め體育講演會を催されたし

一、オリンピツクに朝鮮代表の選手を派遣する事從つてオリンピツク出場の選手を養成選出すべき各種の方法を講ずる事等

日本の音曲

興るもの亡ぶもの(二)

長唄=常磐津=清元の榮え 衰へて行く一中節…河東節… 薗八節…荻江節…富本…

薗八は四疊半式の音曲であるから大廣間で語るものではない。然し十段中夕霧を除くの他は悉く尚死ものであるが如く、頗る淒艶なものである。他の音曲と比べて別段の深い趣きがある。荻江節も薗八と同じく殆ど有るか無いかの有樣で、今日では完全に保存されてゐるものは二十四五段に過ぎない。然し割合に變化の尠いもので長唄と多少似た處もあるから、二十四五段が何時迄も保存されて行くことは困難であらう。今日唄はれるものは比較的作の新しいものが多く、古い荻江として聞くべきは金屋丹前の類であらう。然し一番變化の多い點から云ふと

深川八景 などが一番面白いから、荻江として殘るものは此の類であらう然し今日では此節にも正當なる家元の相續者が無いといふ者が無い。柳橋のお芳の母が家元であつたがお芳自らは全く荻江を語らないので、家元も[illegible]である。元株を持つて居るといふに過ぎない。今では師匠として荻江はおひさより外にない。富本は名見崎得壽齋が死んで、あとには女連中より無いが、此の富本も昔の富本とは餘程變つて居る樣に思はれる。清元とは勿論線の深いものであるから相類似してる點の多いのも勿論の事であるが、今日のは餘りに

清元に近い 樣に思はれる。これ又凋落の一つの仲間である。兎に角之等の日本古音曲が次第に忘れられ僅に殘喘を保つて居るのは、時といふ潮のなせる業で止むを得ざる事ではあるが、今の内に保存の出來る限り保存しないと全く歴史のものになつて終ふ之れは如何にも殘念な事である。

年賀狀の趣向競べ

年賀狀 に趣向を凝らす人が大分減つて往つた、何時も此方面で問題になるのは冢本靖博士は例に依つて自畫自刻の猿に因んだ趣向、之は手刷なので僅に百枚印刷するばかり、巖谷小波氏はこれも自畫の

桃太郎 に猿、之れは中々器用に出來てゐる、志賀重昂氏は例に依て例の如く六號ベタ組で世界の大勢を簡單に氣の利いた文章で印刷し國民を警醒した、美術界の方には小室翠雲氏の朱書で賀正小室翠雲と記した簡單なもの荒木

十畝氏 は『田家早梅』と庚申の自畫をコロタイプに附したるもの高島北海氏と池上秀畝氏は田家早梅を同じやうに葉書大に印刷したが秀畝氏のは二色版北海氏のはコロタイプであつた、鏑木清方氏は猿の顔を木版刷とした變つたもの松岡映丘氏は有職模樣の上品な圖案

歌箋切 が朗詠などの書風を取つて年頭の賀辭を書いた瀟洒なのは福田ひで丸氏で近松の『門松』を利かせ、上に仁左衛門の似顔、下に道具の茶釜と白梅を配りて田家早梅を利かせた木版刷之れ等は先づ出色の方であらう

内外二方面から 生活の改善

如何なる點に存する

それも個人的でなく一般の幸福を思つて私共の生活改善は先づ二方面より考へねばならない、一は精神的に内に反省して他は物質的に外に考究して改造せねばならない、凡そ人間が其生活を改善する目標は如何なる點に存するかと云へば詰まり自分の生活を安樂に自由に滿足して行はんとする慾望其物に外ならぬのである又其處より改善改造の要求も起るのでそれを別にしては何物をも有しない最も此の種の慾望は有史以來何れの時代の人類も共に感じたものであるが併しじつゝも其基礎に成るべき考へを意識して居た人と然らざる人等樣々な種類の人があるが今も

多數の人は 充分改造改善の目的を辨へずして徒に附和雷同し新しいことを云つて見たり行つて見たりと云ふ樣な人も少くはないのである、併し今日起りつゝある改造問題は全人の生活が便宜に幸福に滿足に世界を擧げて眞實如何にせば又平和に行くであらうかと云ふ點に着眼されたらしく事實改造は其處より起らねばならない、而して

其著眼點は 前述の二方面よりせねばならぬ外面的に考究すべき主要點は人類の生活に要せらる、有ゆる物價を最少限度に無駄なく便利に簡單に之を使用して行くこと又其物質と人との間に行はる、使用の關係を適宜に配置し少い勞力で多くの結果を産出する方法を採るのでなければならぬと同時に

最近の知識 として事實上に強い根據を持つて居る科學の上より一切の生活を改めねばならぬ然し如何に科學が魔物を利用する力があり無より有を生ずる底の大なる力を有するものであるにしてもこれのみで人間が其欲する凡てを爲し得るものと思へば恰もドンキホーテの夢の幸福を求めんとして却つて不幸を招く樣な結果になる精神的に内に省みるの必要は此處に在る即ち

各自の生活 の改善は體的生活改善を伴なふのでなければ改善の目的たる眞の平和や自由が得られるものでない極言すれば各人の求むる處は個人としての幸福滿足であれ社會としての幸福滿足であらねばならぬ要之社會共存の理想の下に有形的凡内面的の調節を計ることを忘れてはならない此の二方面より出て來る改造が初めて人類を

一般に幸福 ならしめるものでありまた其處に改造の要求を置かねばならないと思ふ(宮田脩氏の談)

紅茶のあと

○デモクラシーと云ふ言葉は二樣に使ひ分けられる、資本家はデモクラシー(デモ倒らしい)と使ふだらう、之れに對して勞働者はデモクラシー(デモ暮し好い)と云ふだらう

○關西の女は坐らせて置くに限る、それは坐つて格好が佳いからではない下駄と足袋がきたないからだ

頭腦の改造藥

晩近藥物化學の進歩

神經系にエネルギーを附與せしむる燐劑の活生作用に就て 發表

何病氣でも病氣に愉快な病氣ではないが殊に神經衰弱ヒステリー(血の道)位不愉快な疾病はない。その癖他人の目から惡い病位に見誤られ易く、現に罹つてゐる人自身でも氣付かぬ場合もあるから次の記事を精讀する必要がある

◇本病患者の徴候

何しろ、この病氣の徴候ばかりは實に千差萬別であつて、この短い記事中ではトテモ充分なる説明は盡し難いのであるが、まづ第一にこの疾患に冒された人はいくら明晰であつた頭腦でも次第に曇つて來て、記憶力や思考力はだんだん減退し、人の名や物の名を胴忘れしたり、考へを催して根氣が續かぬ。その癖下らぬ事がテキパキ辨らぬようになる而して何仕事をしても興味を覺えず心配してみたりする。それから寢就きが惡かつたり夢ばかり見て熟睡の出來ぬ人が多い。續けて熟睡しないのである、猶これは頭腦の裡は何時でもハッキリしないので、こんな風であるから氣分は常に憂鬱[illegible]生殖器に故障が起て快味減少または早○といふ狀態になり易い、その他食慾不振や消化不良はこの疾病にツキモノのようである、而して最後には發狂もするのだからこれ位厄介な危險な病氣はない

◻治療方法に就て

何がダラシないと言つても、この病氣の人くらい決斷力の無いものはない、折角良い治療法を知つてもオイソレと實行に取掛るだけの熱心が湧かない、それに本病者の常で朝に晩に變つてグラリと變つて、胃が弱つたからと消化劑を買つて見るといふ有樣で、中々一ツの治療法に信賴するといふ念がないようであるが、しかしこれは是非とも注意を促して置きたいのは本病のような神經系統の疾病には在來の藥劑などは浴びる程呑んでも殆ど效果はないといふ事である。だから心ある醫師はこの病氣には服藥よりもむしろ轉地療法を薦める、亦水治法靜座療法などは相當の效力を認められるのであるが專門醫の本に電氣治療を受けるなども大に良ろしい

◻狂喜すべき福音

然しいくら轉地療法が一番だと云つても、勤務勉學の都合や家庭の事情で自宅を離れ惜い人が澤山ある、そういふ事情の人が無理に轉地すると轉地先で心配りが絶へないから結局治病の目的は叶はずに反つて病勢を重らせる場合もある、自宅に居ながらアマリ手數も要せずにこの厄介病を追ひ拂いたいとは誰しもの願ひであろう、所が晩近藥物化學の進歩は實に驚くべきもので

◻健腦生活の快味

何時までも治療法を講ずる氣も氣のつかぬ中に病原が一掃されてビックリする事がある、[illegible]れる事となつた、殊に本病男女の福音[illegible]及び本邦に於ける斯界の專門大家連は畢世の苦心慘憺を重ねて遂にレーベンなる一種の藥劑を發表するに至つた、本劑に對しては内地の醫學博士等ばかりでなく遠く米國醫界の泰斗たるドクトル・ロビンソン博士から、推奬の辭を寄せて發賞して居られる

◻溶解剤ある燐劑

生理學の知識に富む人は既に知悉してゐる事であらうが、腦髓や脊髓は多量の燐成分から構成されてゐるので、もし燐成分をウマク滲透して賦與せしめ得たならば、いかに疲弊し切つた神經系でも忽ち組織的に恢復されるのである、恰度渇ひた咽喉に水を通したように、此原理に從つて近頃[illegible]ではオートミル(燕麥)といふ[illegible]が流行になつて來たのであるから、腦髓[illegible]

人は近頃の藥店でレーベンの一瓶を買求め、すぐ頭腦改造の第一歩に着手せられよ、多くの全快者の談を聴くと、憂鬱な氣分を一掃して、元氣と享樂の湧き出でたる押へ切れぬ歓喜と同時に、何故モット早く本劑を選擇しなかつたろうと悔む氣がするそうである、本劑は權威劑であるから相當の世間本位の賣藥店でも無い限りは本藥を差措ひて他藥を勧めるような事はないが、猶レーベンの詳細と本病の最新智識及び治療上の諸注意を知りたき人は、僅の手間を借しまず『最新療法書を送れ』とハガキに書いて發賣元に申込まるべし、弘濟藥院は一般醫學思想の向上に資する目的で、增田博士著の著述になる書物二冊を無代でトシトシ進呈します、しかし本書は無暗ペラな藥品の説明書などとは異なるから本病者以外の人にはお斷りをする

●價 一個一圓六十錢・二個二圓四十錢・五十錢入試用分・一圓五十錢 もし三個以上ご德用瓶五圓五十錢 附近の藥店に品切等の節は發賣元より直接注文を望まれる方は郵便爲替または振替貯金或は切手代用にて價だけお送附あれば急送します

◉世界到る處の信用ある藥店にあり

發賣元 弘濟藥院 中南定太郎 東京京橋區弓町二二 電話京橋三〇八番・四七六九番 振替東京七七七七番

賣元 弘濟藥院 中南定太郎 大阪東區安土町堺筋 電話本局三〇〇四番 振替大阪三〇七番

連絡船上陸客

十一日夜入港壹岐丸二等船客うめこ、同八千代、由比要、御堂[illegible]

コ政府の運命

[illegible]二月廿一日夜來[illegible]を企て[illegible]

曇少雪

百毒下し

賀正

完成せる近代化粧料

全く重寶な 科學的に結合した 新らしい化粧料

レートメリー

新らしきもの出でよ!

これは改造された時代の叫びです。……レートメリーは此新時代の婦人美を增進すべく生れた新美顔化粧料です!!

「容器も新らしいレートメリー」

新時代の要求による新化粧料を完成せる

本舗 東京 大阪 平尾贊平商店

お飯櫃其他一般臺所器具洗滌料として生れたる

粉末洗磨料 ムツマサクリーン

新しい奥樣方を嬉ばせる新時代の完全な洗磨料

(假定) 一罐 小二十錢 大三十五錢

龜の子束子本舗 東京 西尾商店發賣

[illegible]（八名）宇佐美寶雨、菅高太郎、佐藤荒、鈴木鈴子、内倉鶴太郎、大住文治郎、加藤宇吉、奥野要次郎、朴文尚、宅光順、利吉、二等（九〇名）三等（三三〇名）[illegible]

波瀾を生んだ富豪と藝者

結婚問題から訴訟沙汰

中村再造氏は斯く言ふ＝藝者小時は斯く言ふ＝

京城の富豪中村再造氏一家に纒はる奇怪なる事件あり。事は稍々舊聞に屬すれども巷間傳へらるゝ所の事件概要なるものを記せば左の如し。客臘八日午後五時頃廿五六歳位の藝妓風の女が本町二丁目の同氏宅を訪れ取次に對して何事か來意を告げたるに再造氏自身ツカ〳〵と玄關に現はれ女に向つて二言三言の暴言を發するや否や矢庭に女を突き飛ばし續けざまに毆打又は足蹴にし居たる折柄同氏の長男巖（三）が出で來り女の襟髪を掴んで邸の庭に引摺り行き平手或は草履を以て散々に打擲し北側の家の門前に追出したり。女は衣髪亂れて恰かも喪心せる者の如く同氏宅前なる警察官派出所に届出で事の顛末を申立たるに、恰も同派出所に居合せたる非番巡査鍾路署勤務の有本善三郎が取扱ひの爲めなりと稱して女を派出所より伴れ出してキリンバーに誘き込み同夜一時頃まで女を相手に飲み續け女は跣足にて本町署に訴へ出でしも司法係不在の爲め翌日本町二丁目の高井醫師より擦過打撲傷休業一週間を要する診斷書を添ねて本町署に告訴したり。本町署にては十八日右書類を京城地方法院に送り同法院よりは同月二十三日原告及被告として再造氏の長男巖に對し召喚状を發し右兩人は同日同法院に於て面會し種々談合の結果右告訴は一應原告より取下の申請をなしたるが同法院にては未だ右事件を保留しあるものゝ如し

前後八年の同棲

波瀾に富む兩人の關係

離縁問題から……今日までの徑路

右事件の原告にして被害者なる女は原籍東京市本郷區湯島天神町三ノ二梅村トキ（三）と云ひ嘗て明治町二丁目中央婦人病院傍の某家に間借をなせるものなるが同人は大正三年以來表面の事情は兎も角も

夫婦同樣の　關係を持續し中村家に於ても亦夫婦として同棲を許し居たるも昨年三月頃種々の事情に依りて中村家より千圓の手切れ金を以て離縁を迫られ女も止むなく承諾し同年五月中村一家を呪ふの目的を以て京城の置屋千歳より小時と名乘つて出しも其後兩人間の

關係は再燃し　女は同年八月嫁家を廢して復縁を迫りしも巖は固く復縁を拒ひ居たるに十二月に至りて突然巖が京城高等法院某法官の某妹と婚約成立の噂あり、女は右の眞否を糺さんが爲めに同月六日に中村宅を訪れしも主人及び巖不在の爲め引返し翌々八日に再訪問し前記の仕末に及びしものなり

女は斯く言ふ

自分は中村家を飽くまでも呪ふ

右に就きトキは語る『巖と私は大正二年以來前後八年間夫婦關係を結んで居りました。巖が慶應義塾大學に通學して居る時分から同棲して今日まで私は

命懸けで　對手を愛して居りました。中村家から夫婦としての關係を認めて貰ふまでも隨分苦勞致しましたが京城に來て愈々同棲を許され暫く

沙里院の　中村農場に行つて居たこともあるし、巖が久留米師團に一年志願として入營した時も一緒に久留米で暮したこともございます。其間にも種々さ難題を持かけられて一層死んで了つた方がよいと思ふやうなことも度々ありましたが去年三月になつて遂々千圓の手切金で

離縁され　て了ひましたが私は悔しくつてたまらないから京城で藝者をして中村一家を呪ふために『千歳』から打つて出ましたのが去年の五月です。そして藝者になつて僅一週間目に大阪の或客が今度三十萬圓の資金で京都にホテルを經營するからその女主人公としてやらうとの相談があり料亭あたりの人も天から降つたやうな話

好都合な　話しだから承諾しろとの事でありましたが恰度其の時巖が右の話しを聞き込んで一端離縁はしたものの今一度復縁したいから其話しは破棄して呉れ其代り復縁を實現させて見せると料亭『はつね』で誓約書まで書いて呉れお前の望みなら家も親兄妹も棄て關はないと…この事に私もその情に絆されて

三十萬圓　の方を犧牲にして了ひました。そんなことから勤めも巧く行かず八月に廢業して中村家との交渉を待つてゐた矢先に他に巖の縁談が纒まつたと云ふ話ですから私としては默つてゐるわけにはまゐりませんから十二月八日に

其實否を　糺しに行つた譯けでございます。裁判所で巖と一緒になつたとき巖は『お前は己を罪人にしてそれで可哀想とは思はないか』と種々と恨みを言ひ其男らしき親切なことを言ふので私は復其言葉を信じて告訴の取下を申請致しました

その事が　濟んでからすぐ中村家では兩親も巖も内地に立て了つて全く私を牛殺しにして居るやうな始末です。私は今度こそは全く巖のことは思ひ切りました。其代り再び京城で藝者になつて非人道な中村一家を呪ひます』

渦中の人々（上）中村再造氏（左）同巖（右）梅村とき

巖は留守です

斯くて會見以外の事實を否定し乍ら中村再造氏語る

再造氏を　出勤先の京城銀行に訪問し事件の眞相を叩けば同氏は如何にも迷惑げなる顏をして語る『實に思ひ遣けた話で度々にて…私は此事件には全然關係はありません。私自身は何等の關係を有つて居ませんが私の仲の爲めに多少なりとも世間を騷がし惡名を謳はれることを心苦しく思ひ且つ恥入つて居ます。世間に有勝な若い者の若氣の過ちも事々しく洗ひたてることは

奈何にも　大際な事件のやうに評判されるのは困つたものです。トキ子、巖との關係は從前は夫婦の關係が成立してたのは事實ですが一昨年家庭の都合で當人同志も合意して後腐れのないやうに立派に離別して了つたので其時限り私共一家の交渉は全然絶ねた筈ですから女の一身に就ては什うならうと私共の知つた事ではないが不都合なのは離縁する時一千圓の手切金を渡し將來決して關係はしないと盟ひながら

何時まで　も祟りをされるのは災難です。私も實は將來を慮へたから離縁話の時に國許から女の親を態々呼寄せ永樂町の出張公證役場で公正證書を作り内地へ歸つたら上は必らず晋れ〳〵の面前には顏を晒さぬと云ふ約束で金と本人を一緒に親許に引渡したのですから私の方には念には念を入れて手落ちない積りで居ますよ。私がトキ子を

毆打した　と云ふのですか……其麼事は絶對にありません。十二月八日の夕刻トキ子が私の邸へやつて來たのは事實ですが無論座敷へなど通す理由はありませんから私が『歸れッ』と言ふと何かグズ〳〵言つてるので『歸らぬなら察へ引渡すぞ』と言つて私は引込んで了つたので其後トキ子が什麼なつたか私は知りません、會ふには會つたが唯夫限です。

信用を重　んずる業務に携さはつて居る身分ですから顧みて疚しいやうな振る舞はしません私は此年になるまで他人を打つなど、其麼野蠻な事をした例はない。告訴はされましたが其告訴は本人が取下げたとか聞いて居ます。惡い對手にかゝり合つては敵いませんナ』と十二月八日夕刻トキ子と會見以外の事實は全部否認し去れり。

諭旨免官

曹長上りで身持惡い男

有本巡査は

中村邸から逃れ出たトキ子をキリンバーへ誘ひ出したと云ふ有本善三郎の身上に就て鍾路署長の談に因く『有本と云ふ男は

不勤愼な　人物で徒らに立ち事務も相當に執行し得る能力を有ちながら服務規律に觸れる行爲が多いので先月中旬遂に諭旨免官に附したから現在は當署と何等關係はない。元來有本は憲兵出身で曹長の肩書もあり居り眞面目にさへやれば多少は役に立ちさうに見ゐたから何とかして之を改めさせやうと屢々戒告を試みたが其効がないので

年金勳章　等も所有して

斷然たる處置に出たのである。有本が

毆打事件　に什麼いふ關係を有つて居るか知らぬが恐らく大した事はあるまい表面には未だ何等の事實も現はれて居らぬ。兎に角近頃の警官中に樣々な人物が混出して世間の風評に上るのは寒心の至りに堪へない次第である』

流浪の民還る

百四十二名青島より來仁

併し天涯孤獨で當局も困る

北鮮を抱いて遠く郷貨を離れ異郷に食を求め勞働に其日を送り浮の漂ふが如く朝鮮の國土外に漂浪しつゝある同胞鮮人は非常に多い特に歐露西伯利地方にゐる鮮人は過激派の爲に虐げられつゝある慘狀は甚だしい今度該洲より還送されたる朝鮮人百四十二名は十一日正午江原丸にて青嶋より來仁、檢疫を終り午後二時三十分仁川府寮に收容し京城鐵道三部出張員今瀬、醍醐の二氏を初め京城憲兵隊本部出張員仁川分遣所等協力して還送同胞人の經歴其他取調べ中なりと猶青島民政署長官の通報に依れば還送者は大半老年にして數年前或は數十年前に故郷を出で露領に勞働し其大部分は北露モリマン

鐵道會社　に雇はれ鐵線修繕雜役等に從事中過激派に壓迫せられ流浪の困苦を甞めつゝあつたのを在露の英國軍隊に救はれ朝鮮に還送されたもので一般に低級無識無智に勞働を以て生命させるものゝようである

過般大戰　の影響で過激派に虐げられ食をすら求め得ない悲慘な漂流者で今度英國の軍隊の手に救はれ生故郷へ送還されたものである彼等百四十二名は悉く男で且つ無資産階級で旅費すら持つてゐない始末なのである郷里は全鮮ばら〳〵であるが歸鄕した所で家もなく天涯孤獨な者であるから何とかして

保護を與　へたいと目下考慮中である兎も角彼等には思想とか主義定見などは全くないので過激思想の宣傳と云ふやうな虞は全くないと思ふ』

西伯利出征軍行賞

第二回を行ふ

西伯利出征軍に對する第一回行賞は昨年中行はれたるが更に第二回行賞は第十二、第三、近衞第五各師團より特派せられたる援後備兵に對し數日中に行はるべし（東京電報）

日本銀貨の密輸出

牛にして露見　門司で捕る

門司稅關に於ては客臘支那人が支那銀貨の暴騰せるに乘じ日本銀貨の密輸出を爲さんとする者あるを探知し警戒中長崎の林須縁（三）なる者を取押へ取調中なりしが罪狀明瞭したるにより告發せられ證據物件と共に八日小倉檢事局へ送られたり林は惡銀銅なる處より日本貨幣の五十錢二十錢十錢銀貨及び外國貨幣等都合一萬三千個價格四千二百圓を麥酒を入れたるものゝ如く裝して五個の麥酒箱の中に入れ門司港より郵船竹島丸に搭込み上海に向け密輸出を爲さんとするところを發見され取押へられたるものなりと（門司電報）

ワ氏變死事件

目星つく

犯人逮捕さる

八月廿日變死したる加奈陀太平洋汽船會社代理店主ワイス氏の事件は其後手掛りを得數年前に上海居留地を逃亡し其後歸宅せる車夫は今回逮捕され一週間拘留されたるが他にも警官に對しワイス氏事件に就き詳細なる陳述を爲せる者有るを以て警官は鋭意取調中なり（國際通信上海電報）

引越し蕎麥でも取りませうか』と

堂々たる御引越し先の商業會議所で

書記長蠅の如うに小さくマッチ手を揉み乍ら悦に入る

府内長谷川町に新築した京城公會堂は過般其大體が竣成したので京城商業會議所は東洋拓殖會社内に退いて借つてゐた假り事務所から此の堂々たる大廈に移轉する事になつて十二日引越みやつた所員は語る

『玆の引越　は大體終りました、何しろ書記長以下九名の所員には建物が大き過ぎますまるで超弩級艦に蠅が止まつたと云ふ形ですアハ…會議所の方の擴張は未だ來年度分として大したことはありますまい一年の費用三ヶ萬から暖房費だけに四千圓を費すのですから事務所の方へ行くと板塀を取拂はした』新館の方へ行くと

公會堂の　入口には卓子を積んだ車が横付けになつてる大村書記長がいろ〳〵と指揮をしてゐる運ばれた荷物は一室の片隅に積まれた丈で全くがらんどうである裏手の建築事務所へ行くと土木建築協會の田中氏がゐて『未だ全部出來上がつたのではない室内裝飾の總てが出來上るのは五六月頃でせう高塔が物珍らしいと見えて大分人達が上るが

未だ工事　をやつてゐるので困りますよ』と語る其處へ大村書記長が來た『愈々引越しました然し移轉全部を終るのは今日中には六ヶ敷でせう引越祝ひの蕎麥でもとりませうかアハ…』

公設市場

配達を開始

府公設市場では從來配達は一切しなかつたので幾分不便を感じて居た向きもあつた樣だが愈々十二月から配達夫一名を常置し取敢ず白米だけを配達させる事とした他の物品にも及ぼして將來は市場出入のチケを設け一定の賃金を定めて商品全部の配達を安價に取扱ふ計畫らしい

白米値上

公設市場一錢安

市内白米小賣相場はまた〳〵一錢上の一升に付五十八錢に値上せるが公設市場並に今村精米所では五十七錢にて販賣しされり

困つた持病

またも嫌疑者拘引さる

全州完山町李炳斗、砂町金基信、本町徐採錄等は本韓國臨時政府成立祝賀文の印刷物を配布し獨立運動に參加せんとしたる嫌疑にて拘引されたり（全州特電）

龍山の寒稽古

龍山武德館にては師範中村藤吉氏の指導の下に十二日午前七時[illegible]

殆んど終熄

軍隊の流感

僅職十日頃歩兵第七十九聯隊に發生したる流行性感冒は其後猛烈なる勢を以て蔓延し一時三百餘名の患者を出したるを始めとし歩兵第七十八聯隊工兵中隊騎兵中隊等にも漸次下火となり龍山部隊にありては野砲兵隊に十二日輕微なる新患者一名を出したるのみにて殆ど終熄を告げたり平壤歩兵第七十七聯隊も昨今終熄の狀況にあり大田部隊には未だ一名も發生せざるも大邱歩兵第八十聯隊に五十一名ありと[illegible]べし

驛夫胃折傷

十一日午後八時頃京元線東豆川驛構内に於て南大門驛驛夫[illegible]列車到着し貨車入換中同驛々夫[illegible]は胸部をカップラーに挾まれ肋骨傷を受たるが生命には別條なかるべし

又復天然痘

市内蓬萊町四丁目六十六番地金炳変長男守丞（三）は十日天然痘にて順化院に收容されたり尚天然痘蔓延の兆あれば一般注意すべしと

咄、無禮者！

日章旗を奪取し之を引裂きて市中を引摺り廻る

米オロビル市の除隊兵

米國加州オロビル市除隊陸海軍兵士の一團は同地在本人の門戸に掲げし日章旗を奪取し之を引裂き市中を引摺廻せしより日本人との間に爭鬪を惹起し三名の負傷者を出だせり（紐育電報）

新年歌留多會

京城倶樂部の盛況

京城倶樂部では十一日午後一時より新年歌留多大會を催したが本社主催の全鮮大會を目の前に控ねた昨今非常な白熱的に達してゐるので此大會も自然激しいものであつた會者五十餘名午後七時頃まで猛烈な接戰の末左の通り優勝者が定まり一二三等へは本社寄贈の銀牌が贈られた

一等中島、二等村田、三等谷口、四等久米田、五等岡本、六等小坂部、七等三戸、八等國分、九等松浦、十等街島

支那街組合

稅金不納申合せで反抗

支那街組合は稅金不納申合せを爲し反抗す可しと若し過料を納付する場合は寧ろ禁錮の刑を受くべしと（東京特電）

列車の顛覆

五家房の鐵橋上に於て

六日午後三時廿五分大連發旅順行列車が貨車五、客車一、緩急車一輛を聯結し、營城子驛と龍頭驛の中間關山子南方五家房の鐵橋上を進行中後部聯結の客車及び緩急車突然脫線顛覆し多數の重輕傷を出だせり[illegible]外支那人五名にて脫線の原因は目下調査中なるが途中に依れば寒氣にてレールに故障を生じたるものに非ずやといふ（大連）

出前持の惡事

本町四丁目三十二、高原定一方手頼、（三）は十二月廿七日午後三時頃大和町二ノ二十、三田房藏方に註文の饂飩を持ち行き家人の隙に乘じ[illegible]を窃取し逃げ去りたるが同日本町署の手に逮捕せらる

民間飛行

參加者決定

豫て計畫中なりし民間飛行促進會主催の第一回民間飛行大會は來る十五日洲崎埋立地にて舉行さる可く參加飛行家は佐藤、水田、藤本、小栗、山縣、後藤の六氏なり（東京特電）

看護婦日當

値上となる

豫て出願中なりし京城看護婦會の看護婦日當値上げは八日付を以て許可されたり改定日當左の如し

看護婦普通病看護一等二圓、二等一圓八十錢、傳染病看護一等二圓五十錢、二等二圓二十錢但し食費一日六十錢

附添看護婦普通病（病院）附添甲一圓乙九十錢、普通病（自宅）附添甲一圓十錢乙一圓、傳染病附添甲一圓二十錢、乙一圓十錢

滿鐵の陸上始

露人感激す

[illegible]去月廿八日哈爾賓驛構内に於て陸上始めの式を舉行し[illegible]多大の感激を與へたり（東京特電）

龍山雜事

[illegible]

萬引

府内安國洞八十[illegible]

拾得物横領

[illegible]

本社主催

全鮮スケート競技大會

場所　漢江氷上

期日　大正九年一月廿五日

申込締切期日一月二十二日

詳細逐次發表

[illegible]

灯頃

[illegible]

大正八年の仁川の貿易(一)

一億圓に垂とす

驚くべき貿易額の激増

大正八年に於ける仁川貿易總額は九千百萬圓を算し輸移出二千六百二十九萬六千圓輸移入六千四百六十九萬一千圓に達し之れを大正七年度貿易額に比すれば輸移出一千六十四萬二千圓輸移入三千五百六十萬八千圓の何れも増加となり合計實に四千六百二十五萬圓の激増となれり之れ一般財界の好景に伴れ商業資金の充實せる等により商人に於て思惑的取引の旺盛なりしは其の一因にして一般需要の激増も亦此の貿易の膨脹を來せる重要なる原因と爲さざるべからず故に膨脹にあらずして一般的傾向と見るを得べく試みに仁川稅關管内に於ける京城及び群山の大正八年度貿易額を列記するに實に左の如き數字を示せり即ち

		大正八年	大正七年	增	減
(仁川)	輸移出	二六、二九六、八二一	一五、六五四、五四九	一〇、六四二、二七二	
	輸移入	六四、六九一、三三一	二九、〇八三、二五九	三五、六〇八、〇七二	
(京城)	輸移出	四、八九六、八一二	四、三八二、〇〇三	五一四、八〇九	
	輸移入	五一、八五三、三三九	二九、二一一、〇一〇	二二、五八二、三二九	
(群山)	輸移出	二六、四四五、九六五	一三、一八二、三七四	一三、二六三、五九一	
	輸移入	八、六一八、八四一	[illegible]		[illegible]

右の如く大正八年度に於ける貿易は異状の膨脹を來し仁川港の如きも將に一億圓に垂とする盛況に在り今其の輸移出入に於ける著しき増減を來せる品目に就き左に其概要を列記せん

米 に在りては十一月末に於て既に一千五百九十八萬八千九百圓を算し前年同月迄に於けるものより實に七百五十三萬四千三百五十圓の増加となれり之れ前年よりの持越品の多量にありし内地市場に於ける内地産米の不振に乗應する外米輸入の困難なりし等に因由して市價の暴騰を來せる爲め自然鮮米の移出を増加し加ふるに船腹漸く潤澤となれる爲め鐵道の輸送を海路に變更せる等は其の主たる原因と云ふべく本年は主として相場の關係上内地に移出せらるゝもの多くして支那方面へは輸出許可の制限を附せられある等の關係上却つて減少を來せり

大豆 は十一月末に於て二百十八萬一千八百三十七圓を算し前年同月よりも既に百八十三萬百九十圓の増加を示す之れ昨年四月輸移出稅の撤廢を遠因とし内地市場に於て銀相場の關係上滿洲大豆の輸入高を唱へたる爲め鮮産大豆之に代つて輸出せられ且つは鐵道の特定運賃の廢止に基づく輸送經路の自然變更等は此激増を見たる原因なりとす

其他 の豆類に在りては前年殆ど輸出を見ずして僅かに一千圓を算したるに過ぎざりしも本年は十一月末に於て七萬四千八百餘圓を算し七萬三千八百圓の増加を示せり斯の如きは多く當時の相場關係に左右せらるは勿論なるも内地に於て北海道産の大豆並に豌豆等頗ぶる高値なりし結果著しく朝鮮産豆の活躍を見たるに因る(仁川)

有望なる長春

現在と將來の伸長

長春領事 村上義温氏談

長春に來任して以來僅かに數ヶ月を經るに過ぎざる爲め各方面に對する知識未だ充分ならず延て明確なる自己の所信を披瀝し得る程度に至らざるも先づ予が卒聞して得たる長春の感想を簡單に陳ぶれば左の如うである

(一)率任の當初感じたる如きは雜然として内容の整はざる事力の微弱なるものにてなく事實は取引上より云ふも市街の發展より見るも總ての點に於て外觀よりも内容頗る充實して居る本家のみの力に倚らず殆んど發展の徑路亦他動的即ち内地の長春自ら着々發展の地步を築き實力の甚だ堅實なる事

(二)寬城子並に支那街及び我附屬地の相接觸し都市としての發展に好都合なる事單に好都合と云はんよりも日支共同的發展の本營を實現するに於て好個の折衝地たるを感得するの要あるを覺ゆ

(三)經濟上より見て最も堅實にして賴母しき植民地的發展をなしつゝあるは勿論地理上及び經濟上の中心としてのみならず各方面より見て將來益々有望なる事

(四)支那兩國官民の我に對する態度著しく良好にして就中日支間の國際融和特に顯著なるは最も愛すべき事にて其理由に就ては地勢上經濟上其他諸種の關係もあらんが一に各交涉機關に在る人士にて日本に留學し我國情に精通し邦語に巧なる人々の多き結果にして支那政府が適材を適所に置けるを看取し得る事

等にて猶其他一二の感に就いては今遽に發表を憚るも要するに東三省としての長春の地勢及び南滿、東清兩線並に吉長線開通後に於ける交通關係よりして經濟上は固より將來猶更に重要なる地位に進むべき事を確信すると共に我在住同胞が單に自己を標準とし或は長春と云ふ如き小なる見地より離れ邦人發展の基礎には幾多の犧牲と幾多の艱難とに鬪ひたる國家在る事を忘れず益々協力結締猶一層日支親善の實を加へ以て一には土地の發展に資すると共に我が國勢の伸張に努力せん事希望に堪へない次第である

明太魚氣強し

昨年の不漁に對して一層豐漁の聲は市場の耳朶を打つて或は相場下向かずやと多少懸念された明太は其後頗る豐漁にて續々と入荷されつゝあり今其狀況を聞くに連年の不漁は一帶に持荷薄となり搗て諸物價の暴騰と相俟つて昨年度の暴騰となりたるものなるが其の後高値保ち合ひつゝ漁期に入る又豐漁の聲に一時出鼻を抑さへられたる感なきに非ざるも物價騰貴の聲に連れて益々強氣となり目下の相場は生太一駄荷造り上り九十六七圓乾明太九十圓の呼び値あり而して地豐漁と輸送による在荷潤澤は茲許若干弱含みなるが如し左れど此の呼値は到底動くまじく或は今一步の高値現出するやも知れざれど其れは要するに明太の高値と云ふよりは物價騰貴による高値と云ふの外なかるべし目前に朝鮮正月を控へ居る事とて或は其際若干の下押しあるやも知らずされど是れは一時的現象にして必ず其の後に於て反撥するものと見て差支なかるべし(元山)

慶南の産業(三)

慶尚南道事務官 東田篤氏談

畜牛 其の施設の徹底的にして順調の發達を遂げつゝあるは畜牛に關する施設なり蓋し本道は内地への門戶たる釜山を有し夙に多くの畜牛を輸出したるが明治三十七八年戰役中及び同役後の畜牛大輸出は其大減少と骨格體型の劣變とを來せり乃ち從來經濟上之が放任は憂慮すべき現象なりと認め明治四十四年密陽及び彥陽に畜産組合を設置し爾來各郡に之が設置を獎勵し大正五年を以て之が設立を終へたり之等の組合は自治の精神に基き消極的には病牛の治療獸疫の豫防積極的には畜牛改良蕃殖の衝に當れり一方に於ては大正元年道は率先種畜所を設け北鮮良種牛を購入して其交配により骨格及び體型の改良を計るの基本を示せり尚ほ昨年四月には本道畜牛體型標準を定め之れに依りて蕃殖牛の選擇及び畜牛の淘汰を行はしむるの域に達せり昨年の生產頭數五萬總牛數に比較すれば各道第一たるべし總牛數又逐年増加して今や十五萬に垂んとす而して昨年中釜山を經由して内地へ移出せられ居昌、咸陽、河東等を經て全羅南北道へ搬出せられたるもの合計三萬を下らざるべし本道の畜牛蕃殖改良の實狀は大體以上述べたる通りにして全羅南北道が其生產不充分にして之が補給を本道に仰ぐものと比肩して多大の誇を感ぜざるを得ざる次第なり固より本道畜牛の成績は山野に富むの天惠に基づく所大なるものあるべしと雖其施設に負ふ處少しと云ふを得ず昨年中西北鮮に於る流行性鵞口瘡の流行は釜山に多數の病牛を招來したるに拘らず道内畜牛をして一頭をも其の病毒に感染せしめざりしは其豫防施設に俟つ所大なり内地耕牛及び肉牛の大不足は之を朝鮮に依賴すること大なり畜牛の改良增殖は單に道内農家經濟上の必須たるのみならず本道の爲にして其利益は遠く内地の需用者に及ぶものと云ふべし

船舶職員試驗

仁川の海事出張所

仁川海事出張所に於ては來る二月十日より定期船舶職員試驗を執行すべく試驗種類は甲板部機關部甲種船長機關長以下にして試驗期日は二月十日願書提出は一月末日限り試驗場所は仁川海事出張所なりと(仁川)

○仁川郵便局長 仁川郵便局長池田魁氏は今回本局勤務を命ぜられ不日仁川を引揚ぐべく後任として鎭南浦局長橘川克彥氏に仁川局長を命ぜられたり因に池田氏の送別會は十二日仁川俱樂部に於ける歡迎會と兼ね歡送迎會と爲せり(仁川)

○川上理事の講演 大日本融和會理事川上昌保氏は去八日來壤せしを機とし九日平壤警察署に於て十日平壤府座に於いて日鮮融和に關する講演をなしたり

平壤市民大會

十四日開催

來る十四日開催せらるべき平壤市民大會につきては既に報道せる處なるが本會開催の主旨たる平元鐵道速成及び大同江架橋速成の兩問題は全市民の渴望せるところにて今回本會開催の報至に傳へらるゝや市内の人氣頗る湧くが如く愈開催の當日たる十四日は正午を期し煙火と共に開會する筈なるが開會中は絕えず煙火を放揚して一層本會の盛況を添へ且つ會員よりは會費一圓を徵收し寄附金を以て酒肴の不足を補ひ平壤檢番藝妓連に於て酒間の斡旋を取る由なれば當日の盛況推するに足るべし(平壤)

鳥致院と流感

死者續々出づ

鳥致院は昨年末に一二の流感發病ありしが一月に至り流行甚だしく罹病者日々增加しつゝあり中には全家枕を並べて床に就き看病人を雇はんと欲するも應ずる人なく醫師も殆ど持て餘し居れり昨今續々死亡者を出すに至れり(鳥致院)

○新義州懇話會 新義州懇話會一月例會は十日午後六時より鐵道ホテルに於て開催頗る盛會なりし(新義州)

○全北道知事の招宴 全北道知事李軫鎬氏は十日夜青陽軒に於て新年宴會を開き官民有志五十餘名を招待したり頗る盛宴なりき(全州)

悲慘なる俘虜

發狂者續出

年でしやうか再來年でしやうか?…』と淋しい笑を浮かべるし

壞土耳古の俘虜總數は二十一萬餘と云ふ事

して其の内日本軍の管理してるのは浦鹽、ハバロスク、ニコ

壞俘虜といつても管理國に依り待遇に差異

リースキーにあるものである其

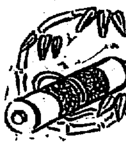
の變動にも著しい影響を受け

がなく發狂者と健全者のこが共同生活してゐるのであるから

日本將校と同等の待遇

生活を送つてゐる、夫で露國側に管理されてゐる俘虜は持々宿

から強く衝撃してゐるさうである尚ほ彼等の外に管理されて



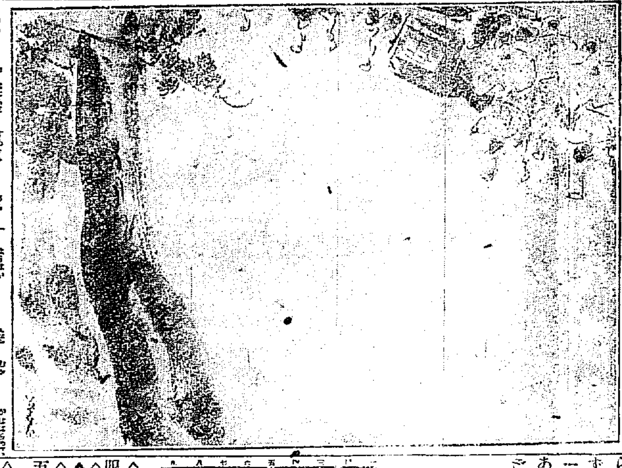
伊達騷動

小金井芦洲講演

第百十二席

安藝と小十郎對面

安藝は猶々と 安『兵粮は古今無雙の仙臺米、田畑は年々凶豐を均して百萬石にも上り、就中鹽釜明神の境内高木濱橋樽村の邊は光り千俵と號して日輪さへ出給へば、日々千俵の收穫あり、又古今無二の鹽竈あり、糧食は充分、東海三面魚類は澤山、殊に部の恐山より山又山と山嶽重疊屏風を連ねたる如く、材木には乏しからず、猶金銀は前田山、藏王礦坑、御子口金山銀山金華山、黃金花咲く陸奧の國誰か是れを知らざるべき、然らば能く防ぎ能く戰ひなば、終には將軍家自身出馬あつて天下分目の大戰にならんこと疑ひなし、サ其の時は他目を顧らず、城門を開いて御旗本に推參して運を天に任すべし、地戰容戰味方に勝利疑ひあるべからず、遁る者あれば必ず長追ひして追ひ止り給ふな、早速引上げ、機を忘れ給ふな、其變に由つて臨機に應じ、其變に由つて敵を竊ひ幾度も幾度も駈悩まし、日を送る其の内には、伊豫國宇和島の城主伊達遠江守殿、同じく三州吉田伊達左京之助殿、其他の諸侯十二三頭、必ず後詰あらん事疑ひなし、然すれば天下の大亂危急存亡の時となる、雨降つて地固まる際の如く御繁昌じて榮となり、如何なる事に成行かんも計り知れぬ、然れども是は老人の夢物語りでござる必ず人に語り給ふな、各々方…』イヤ是が一世の訣別にならん……『宮賢々々』と滔々と陳べ立てる、並居る人々感嘆措かず敬服した 甲『至れり盡せる藝州殿の御物語り、心魂に徹し胸に刻んで忘却仕る間敷く候、いかで其處に至つて祖先の武名を汚し末代の汚名を受ける者一人もこれあるべき、國表の事は必ず御心配御無用にて、唯江戸表の儀を御大切に遊ばされ度く御歸國を一同待上げ奉ります』と 乙『如何にも御大切に願ひ奉る』と跡は粥ばかりの酒肴を以て訣別の盃を取交す、イサ出立の用意『一同『九牛一毛、一同』と河原町迄御見送り申上げん』と一統臟社神の姿で乘物に附添ひ青葉山本城を出立に及ぶ、大手前の橋を渡り大町通り芭蕉ケ辻是ぞ名代の十軒店、三階造り緑の名所夢の跡躑躅ケ岡、末の松山千賀の浦鹽竈明神一の宮、松島富山石の卷、金華山を東の方に遙拜なし、暫しの間河原町に向つて五軒茶屋、長町越て片倉川宮城名取の境なり、仲田の驛もハヤ越て增田の長橋名取川、武隈明神武隈の松、實方中將の墓所、道祖神岩沼の宿、村の方靈石稱荷も何時か過ぎ、槻木船迫、猊日の關大河原、金ケ瀨越て刈田郡刈田の宮を伏拜み、阿武隈川を打過ぎて、白石城へ着いて酒宴、猶も行末の密談數刻に及ばれましたが 小『伺ひますも憚りありとは存じますが如何にしても御人數が餘りに御淋しい樣で御座るが、勿論御人選の事であらうが、惡人共は死物狂ひ、此處より江戸表迄は九十里足らずの長途、原もあり且險阻な地もあらんか一大事、幸ひ手許に屈强の若者大勢控へてゐますれば姿を變へて御途の跡先へ尾行て御警護申上げやうと存じますが、如何なものでせう』 安『イヤ拙者も夫は心付かんでも御座らんし、又家來共も是非江戸表迄供をと申しましたが、左程敵を恐るゝにも及ばず、又彼等に悔らるゝも殘念、忠義の道に一命は惜まぬ者と覺悟しての出府、武運拙くば是ぞ拙者の運命に非ずして御館の御運盡き給ふと同じ、私心なければ天地の助力もあらん、御心添へは辱なけれど御辭退申す』



京城明治町 電話二三四〇
產科婦人科
中央婦人病院
院長 衣笠舜山

京城壽町 電話二二〇一
產科婦人科
二宮醫院
醫學士 二宮忠吉

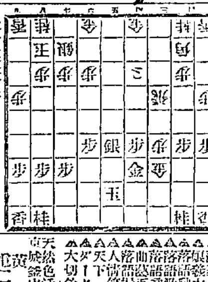
將棋新手合(四)

於京城旭町 白水將棋會

六段△滿呂木光治氏(京城)
兩駒落▲有賀光豐氏(京城)

(圖は前號指了迄の局面)

△持駒滿呂木氏銀一歩二



持駒有賀氏

△五七金 ▲三八金 △四五銀 ▲八四飛 △八六銀(チ) ▲三七歩ナル △五四歩(リ) ▲四八金 △六七玉 ▲四七と △五六金 ▲六四歩(ヌ) △三三歩 ▲一三角 △五五銀 ▲三五角(以下次號)

滿呂木六段評

△(チ)八六銀と詰けたるは惡し七六銀と詰ろ良なり
△(リ)五四歩は惡手なり此處敵の三七歩なりを同桂と取る良なり
△(ヌ)六四歩突きは强き手なり而して以下少しの惡手もなく良く完束たり

一月十三日

火曜日 (舊)十一月廿三日 先負

▼七赤 ▲油斷すべからざる日也
▼八白 ▲いらいらする事ありとも能く考ふれば胸の納まる日也
▼九紫 ▲金錢上の事注意すべし
▼一白 ▲腹の立つ事ありとも辛抱すれば必ず得心の行くべき日也
▼二黑 ▲見得見かけ倒しの日也
▼三碧 ▲緣談合して見るべし
▼四綠 ▲損害を防ぐべき日なり
▼五黃 ▲爭の日なれど得意に乗じて妄進せば却つて不可なり
▼六白 ▲親しみのある日なれど馴れ過ぐれば却つて過ちあるべし

京都 たまや出張店 明治町二 電話一二九六 呉服

演藝案內

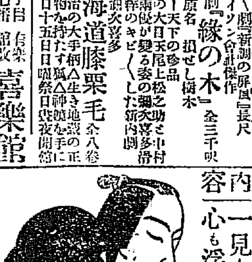
京城櫻井町 電話八七三 大正館
當る七日より新春第二次特別大興行
○實寫『烏賊漁の實況』長尺 ○ニコ〳〵劇『間抜け男』長尺 ○ニコ〳〵劇『新調の邸宅』長尺
米國エディソン會社傑作 人情劇『緣の木』全三千呎 原名 損せし樹木
又た出た!天下の珍品 ○日本一の尾上松之助と中村扇太郎へ兩優が變る姿の趣向 江戶ッ子的のキビ〳〵した新內劇
○舊劇 東海道膝栗毛 全八卷 化猫退治の大手柄△荷物を持たす狐△生き地藏の正體は△神鏡を手に
每月一日十五日日曜祭日晝夜開館

本町一丁目 電話九七番 有樂館改 喜樂館
○當る一月七日より引續き特別大興行 先週迄滿員御禮の爲特に普通料金
△滑稽『步路のキチ』△喜劇『忠實な家兵』
軍事教育の好資料英國海軍省撮影 戰時の海と空 全三千呎 戰線に於ける緊張せる英國海軍の活動及獨逸飛行機英國と戰さの實戰
米國ラスキー會社特別作品 人情劇 眞夜中 全五卷 『ジェームス』は犯した罪の報ひたさ紐育の一夜…
日活京都派新派特作品 仇討悲劇 佐野鹿十郎 全六卷

京城旭町 電話二一六〇 浪花館
當る一月元旦より(正午後六時開場)京阪大合同落語大演藝會

黃金町 電話一三六七 黃金館
天然色活動寫眞株式會社 京城釜山一手特約代理店
當る七日より新春第二次特別大興行
米國紐育キャーン設計會社作『ジッピーの想ひ』一卷
米國カレー會社作 宗教『國畫面の女』一卷
大井新太郎出演 新派大悲劇 春の光 全五卷 大井一派の土谷に新作 家庭を祝して子供を…
アンダリン會社作 大活劇 空中水雷 全三卷 クロフォード少佐は空中水雷を發明し…
大活劇 荒浪五郎 全四卷

青春男女必一見 ▲急告▼ 弊堂獨賣 他店類無!!! 注意 內容 一見して恍惚身も心も浮立つ珍寫眞



美人珍寫眞 眞正顏付拾貳枚一組に付 甲五圓也 乙貳圓也 丙一圓也 外ニ數千種 見本は一圓也(各送料共)切手代用一割增 大阪難波局區內 振替大阪四〇六〇 大正堂 不向の節は返金す

リウマチ神經痛で永年困る人は不思議によくきく良藥有り葉書で申込ば詳しく知せ升 東京市麴町區飯田町六の一 天壽堂

京日案內 普通 一回前金七十錢 番外 一回前金壹圓(二十錢)…

看護婦及見習 至急入用 希望者は至急來院の事 仁川 佐藤病院
上女中入用 年齡二十歲以上五十歲迄 京城新町 電話四三二番 金淸樓
理髮職人入用 並に上錢店又賣店 希望者は來談あれ 龍山日拔場所前 龍山鐵道官舍 大山吉彌
仲居至急入用 拾七八才ヨリ貳拾五六歲迄 但し通イニテモヨロシ 仁川 三吉野
女子店員數名急募 履歷書持參ありたし 三國商會
看護婦及見習 至急入用 希望者は本人直接來談あれ 京城旭町一丁目 島崎病院
毛皮なめし並に仕立 鳥獸剝製標本調製鳥類毛皮買入 京城本町二 電話長二〇六 高毛皮貿易商
古本高價買入 遠近多少不論御報參上 京城本町二ノ五九 文光堂書店
看護婦至急募集 希望者は來談あれ 京城長谷川町 安東病院
電話讓物あり 公債、債券高價買入 京城光化門通 電話六八〇番 坂本
レール九封度一哩買入 トロ數 鎭南浦 齊藤農場
看護婦募集 見習 希望者は本人來談あれ 京城本町二丁目七〇電話七四二番(浦尾旅館前) 京城醫院

外務主任募集 外務主任募集ス鮮人二名女一名年齡廿五歲以上ニシテ人格アルモノ月給七十圓以上百圓迄支給ス 一月十三日ヨリ十六日迄午前十時ヨリ十二時迄履歷書携帶來談セヨ 明治町小川旅館內 青木

月經閉止四五ヶ月以內に確實に通經作用を以て容易く應用 流經新藥レスタリン 月經不順其他婦人病に效果顯著 上大阪北區曾根崎一丁目三六 常盤藥院 振替大阪一八三七〇番

●出張所設置

謹啓各位益々御隆盛の段奉大賀候扨て今回左記の箇所に出張所設置仕り滿洲特產物の取扱を開始仕候間爾今一層御愛顧御引立に預り度く只管奉懇願候 敬白

滿洲奉天江ノ島町九番地 駿府商會出張所 電話長五九七番 電略『ス』又ハ『スン』

本店 朝鮮京城太平通二丁目 駿府商會 電話二一六一番 電略『ス』又ハ『スン』

TAKA-DIASTASE
高峰博士發見 タカヂアスターゼ
本品は本邦人に最多數を占むる澱粉不消化に因する胃腸疾患に必要缺くべからざる新藥として多數の醫學者臨床家に依り賞用せらる內外醫學者の實驗報告書あり無代贈呈す。
東京室町、大阪平野町東店 三共株式會社

鷄卵配達開始 京城本町一丁目電話五四二番 守山鷄飼育所

平壤甘栗 特別燒卸小賣 紀之國屋事 醬油類 新疋清酒 其他糧々 鎌田商店 京城南山町一ノ一 電話三二六九番

資本金壹千萬圓 頭取 安田善三郎 株式會社百三十銀行京城支店 京城本町二丁目 電話長五八番 振替貯金京城一二九四番 銀行一般の業務幷々御便利に御取扱申候 爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有

內科胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一二七二九 一三九〇番

木炭の半額であり頗る經濟な 卵形無煙煉炭 用途火鉢用炊事煖爐用定價一箱(凡四百個入)金壹圓… 石炭代用として他に比類なき頗る經濟な ピッチ入卵形無煙煉炭 燃燒時間拾時間一定の高熱を保つ 朝鮮無煙炭株式會社京城特約販賣所 京城太平通二丁目電話七二七番 西崎商會 南大門支店 倉庫用 電話二三〇番

前京城覆審法院判事 辯護士 法學士 切山篤太郎 京城黃金町一丁目一五九番地(三井物產株式會社向側)電話長一八六九番

廣告 八千代生命保險會社ヨリ故庄吉契約保險金壹千圓也敏速ニ支拂ヲ受ク茲ニ同社ノ信用ト確實トヲ廣告候也 小副川正廣

京城明治町二丁目五十六番地(宇治屋茶舖橫入ル) 眼科專門 入院 荻原眼科醫院 電話二三六七番 荻原院長

最新刊
勞働組合法と勞働組合規則 二、二〇 阿部 急設
同盟罷工論職工組合論 各冊、七七 賓文社編
資本經濟諸話(坤二) 三、七四 稻田 德三
日用便覽 仁川觀測所編 實價、六〇
北濱と兜町 島本 德一 二、七五
勞働組合の組織と勞働組合法 田子 一民 二、九七
勞働と信仰 三浦 實造 一、九八
京城本町一丁目 大阪屋號 電話三六四三番 振替京城二五七三番

風引には 大學病院搽範方劑 KAZEPIRIN カゼピリン 熱 風 本舖 樂天堂製藥會社 朝鮮滿蒙の特約店に販賣す

殖銀期末業績

朝鮮殖産銀行の十二月末日に於ける業績を聞くに債券發行高は千七百五十萬圓を示し貸出しは商業金融部に於て四千百六十萬圓勸業金融部二千九百卅萬圓合計七千餘萬圓となり預金は三千二百九十萬圓に増加之を前年同期に比すれば勸業貸附三倍半商業金融二倍債券發行千四百五十萬圓の増加を示し同行運轉資金は面目を一新せり

朝鮮商銀增配

朝鮮商業銀行にては來る三十日銀行集會所に於て株主總會を開き當期貸借對照表益金分配案を附議すべきが同行期末の貸出しは一千百萬圓を超へ預金八百萬圓に達し之を前年同期に比し預金は百六十萬圓貸出は三百萬圓を増加し純益八萬圓を計上し得るにつき配當は政府株を除き一分増の一割案を提出する事となるべしと

臘末京城金融

前月來の金融繁忙は歲末決濟資金を要するの外米豆の出廻り滿洲粟の輸入漸次增加し加ふるに綿絲布の賣需向き貸れ行き例年に比し稍遲延の模樣ありしに一面その移入爲替の支拂ひに忙殺せられし狀況なりしを以て爲めに金融は常に繁忙を呈せしも歲月に近づくに從ひ幾分落つき氣味となりしが大戰繁縮の裡に無事越年せしも舊正月季節に入るまでは相當金融繁忙の步調すべし

新發起人

現物取引所株式賣買會社　昨年十一月中李允用男大住文次郎氏外一百四十餘名の名を以て出願したる京城三種現物取引所株式會社の發起人は十二月廿二日附を以て「發起人多數網羅の趣旨は一都市に於て一箇所に限り許可さるべき特種の權利に屬する會社の設立には成るべく總ての階級による代表者又は總ての團體に於ける代表者を以て組織し極めて利潤を公平にす」との趣旨を以て今回更に發起人中に尹澤榮侯、閔丙奭子、尹德榮子、李根湘男、趙鎭泰、韓相龍、劉漢鵬、韓翼教、張稷相、呉聖旭、呉競默、劉鎭乘、劉文煥の十三名を加へ新發起人の代表者に金東完氏を當つる旨屆出たりと

漢銀株主總會

漢城銀行にては來る二十三日午後四時より同行樓上にて第二十九回定時株主總會開催し財產目錄貸借對照表營業報告損益計算書承認の件利益金分配案決議の件、大邱に支店設置の件、資本金增加の件、定款改正の件等を附議すべく株主配當は前期同樣八步預金額千二百萬圓貸出額千三百五十萬圓を示せり

製綿會社拂込

朝鮮製綿會社にては十一日重役會を開き事業擴張資金として未拂込金七萬五千圓中三萬七千五百圓を二月廿五日までに徵收し殘額三萬七千五百圓も相當時期に徵收する事となりたり尙ほ同社の增資は重役にその意向あれど尙ほ決定するに至らずと

十八銀行總會

長崎に本店を有する株式會社十八銀行にては來る二十八日同行に於て大正八年下半期決算に對する定時株主總會を開催し財產目錄貸借對照表營業報告損益計算承認及び同期利益金配當案決議等を附議すべく尙ほ同行配當は前期同樣一割なりと

興鐵總會

朝鮮興業鐵道株式會社にては愈々來一月二十日午後一時より東拓京城支店樓上に於て創立總會を開くと、なるが當日の附議事項左の如し

一、創立に關する事項報告の件
一、取締役、監査役選任の件
一、取締役、監査役報酬額決定の件等

日銀帳尻

一月九日の現在左の如し(東京電報)

發行高	一、二五二、六五〇、〇〇〇圓
正貨準備	九五〇、七七〇、〇〇〇
限外發行	一八一、八七〇、〇〇〇
貸出高	四五五、七六〇、〇〇〇

前月に比し發行高三千二百萬圓貸出五千三百萬圓を減ぜり

○鮮銀券日報　一月九日現在左の如し

發行高	一四九、六八〇、八七〇圓
正貨準備	六〇、九〇七、八二九
限外發行	八八、七七三、〇四一

財界閑話

◇新春に入つて株式が高い、殊に主力株が高い、聊か意外な程内地の主力株は活動してゐる▲これは銀行で投機抑制の手心をしたり、政府者が射利心を戒めたりしても結局一般に金があり餘つてゐるため、その使ひ場所を株式方面に求むるからである▲通貨十三億圓と云ふ大きい數字を示し、正貨は二十億を超過せる今日である、銀行業者の財界反動來發戒の悲觀說や、金利の大變などから觀た不景氣來の聲は一向絕へもせぬけれどそれはまだ中々前途遼遠らしい結局金があるから買ふ、買ふから上るのであらう▲殊に最近内地農村の景氣は意外に好い、兩三年前まで内地の農村と云へば直ちに疲弊と救濟の必要を聯想されたものだがやが此頃はその反對で生活難など云ふ聲は地を拂つてゐるらしい▲早い所農村の聲は米一升十三錢の時代より六十錢の今日の方が比較にならぬ程暮し好い……物價は高くても好景氣の繼續を望むと云つた風である▲從つて一部銀行家の悲觀するやうな時代は何か世界的に極めて大きい惡材料でも出ぬ限り來さうもない▲その惡材料は歐洲列强が戰前の狀態復舊に努力してゐる今日今にも來るやうには如何にしても思はれぬ、殊に財界の好況は當分續くだらうとある有力な實業家は語つてゐる▲内地の株高に伴なひ朝鮮の諸株も概して高い、金融もゆるみ出したやうだから此際は現株市場や株式▲融機關の整備に伴なひ一相場あるかも知れぬ

商況

株式

東京株式（至急電報）

	十二日第一立會	前電比較
東株	五〇七、八〇	七、九〇高
同新	五〇六、一〇	三、九〇高
滿鐵	一八九、九〇	五、〇〇高
一新	一八四、二〇	一、三〇高
二新	……	……

大阪株式（至急電報）

銘柄	十二日前場寄付	十一日後引比較
大株	四七四、九〇	二、五〇安
同新	四七一、五〇	九、六〇安
郵船	二四八、〇〇	……
同新	一四〇、〇〇	一、〇〇高
商船	一七一、九〇	一、三〇高
同新	一六七、八〇	三〇安
鐘紡	五〇〇、九〇	同
同新	四八九、一〇	一三、一〇高
東紡	三三〇、一〇	三、〇〇高
東糖	二〇九、九〇	二、〇〇高
宮米	二〇九、九〇	二、〇〇高
上取	二三三、九〇	一、一〇安

京城現株市況

今朝は日曜明けに聊か氣拔けの態にて市況引立たざるも休日前の諸株一齊高止まりに氣を持ち一般に阪地入電待ちの姿に在りて手合せ人氣は殆んど東拓株に集中せる觀ありて一新二新合せて一千二百餘株商內あり最も右は主に十日午後の取組に係り今朝は入電未著の爲め氣迷ひ居たり而して之れが出來値は一新七十五圓より高値六圓二新は四十圓買ひより安値四十一圓乃至一圓五十錢買り高値は四十三圓もありて人氣旺盛を極めつゝあり休日前より今朝に亘る手合せ平均値左の如し

東拓一新	七五、五〇〇	二八〇
同二新	四二、〇〇〇	九四〇
仁川取引	一八一、〇〇〇	二〇〇
森林權利	一二、三〇〇	一二〇
朝日醸造	一二、八〇〇	四三〇
滿蒙毛織	四五、〇〇〇	五〇〇
朝鮮電興	一六、〇〇〇	五〇〇
朝鮮土地	一七、八〇〇	五〇〇
東洋薬貨	三八、八〇〇	一〇〇
殖産銀行	一一四、五〇〇	三〇〇
朝鮮紡織	三五、三〇〇	五〇〇
朝鮮製紙	三八、〇〇〇	五〇〇
安東信託	三五、〇〇〇	三〇〇
東洋製糖	一九七、〇〇〇	一〇〇
横濱取引	二〇二、〇〇〇	五〇〇
帝劇新	九八、〇〇〇	二〇〇

東京再び活躍

東京株式は別項特電の如く今朝第一立會に於て新舊共に五百圓を拔き舊七圓九十錢高新三圓九十錢高を示し滿鐵亦一齊に上伸して舊五圓高一新一圓三十錢高となれり

東拓高構へ

東拓株は增配の鳴物に買人氣を集め近來珍らしき取組高を示し居れるが去る九日二和商店は一新七十五圓賈の入電に次いで八十圓の氣配電報に接し居りて徐々先高を氣構へらるゝ模樣なるも當地にての出來値は未だ七十六圓を上らず而かも買氣は依然衰へざれば今一段の新値を見るに至るべしと觀測されつゝあり

安信氣丈

安東信託は舊臘二十圓臺に落込み一般に同復の容易ならざるを氣遣はれしが昨今ヂリヂリ引締り來り最早や三十五圓以下の賣物少く五圓處は弗々賣望まれつゝあり

商銀增配

朝鮮商業銀行は舊株五十八圓五十錢新十九圓處の唱へなるが同行は從來九朱配當なりしを今回一割配當に決したるを以て幾分株價に好影響を與ふるに至るべし

株式界總捲り(二)　一記者

山六商會　此店は近澤、篠崎、三田、佐野、池田、山崎の六氏より成る匿名組合にして山崎

鹿瀨君其の代表者たり、開店以來未だ半歲に滿たざるも此の店の特長は開店當初の宣言通り極めて潑剌なる點に在り、事實他店にて五十錢の手數料を平氣で取る株にも同店は僅かに二十錢三十錢の薄口錢を以て營業しつゝあり甚だしきは記者の目擊したる中に十錢の手數料を以つて賣買したる事さへあり、未だ店員に熟練家を得ざる爲め商內多からざるも堅實なる營業振りを見せ居れり前記の匿名者は孰れも京城知名の士にして之が一致團結して活躍を開始せんか將來有力なる問屋たらんも少しく思ひ切つたる思惑を試みる際は隅人の如き自由速斷を缺ぐ恐れあり代表者たる山崎君としても五人の小姑を滿足せしめざるべからざれば自然決斷を躊躇する場合なきに非らざるべし

○取消　十二日附欄外所載東京現株特電の東拓舊株及一新の値段は共に誤電に付全部取消す

米況

東京期米特電

◎十二日前場　當限寄付　五十一圓八十四錢
中限寄付　五十一圓七十九錢

◎十二日前場　寄付　五一、九二一　八日後場
高値 ……
安値 ……
止め ……

大阪期米特電

◎十二日前場　當限寄付　五十一圓〇九錢
中限寄付　五十一圓二十錢

◎十二日前場　寄付　五一、三九
高値 ……
安値 ……
止め ……

神戸期米特電

◎十二日前場　寄付　五〇、九四
高値 ……
安値 ……
止め ……

下關期米特電

◎十二日前場(浮足)

		中限	先限
寄付	五一、三〇	五一、三〇	五一、元
高値	……	五一、三〇	五一、元
安値	……	五一、〇〇	五一、二四
止め	……	五一、二〇	五一、三

仁川期米

十二日前場（踏上げ）

休日前の引尻の買進みに場況變りの機先大阪の高値止めを移して今朝の人氣は買氣を刺戟し軟派の狼狽的心膽を寒からしめし出來ざるも中四十八圓八十錢で當丁高に寄付の賣聲に七十錢と下押せしが因買聲あるも買物なく先の買ひに六十錢と二十五丁上放れに始め七十錢と一騎に反撥せしが軟派の防戰を目手詰めに六十錢と弛みしが押目は前物殺到して七十五錢と益々硬勢を帶びたるも高値は中限の鞘採算より乘替買りも現れ六十五錢と弛みしが押目は相變らず買氣旺盛にて七十錢摑みに盛返し煎れと利喰いの大混戰を演じ結局買優勢に五錢と跳ね二錢と硬勢裡に引　▲第二節　當出來ざるが中の買りに七十二錢より七十錢と下這りせしも押目は引米多く底堅强硬に七十三錢と盛返し力正の手揃ひ買りに六十五錢と崩れしも押目ば由布の煎買ひに全く好く買ひて七十四錢と跳返し三錢と氣丈に引　▲第三節　當出來不申中七十錢より因買に六錢と締まり先七十一錢と手堅く始め五錢と上伸せしも正米との採算上玄人筋の買物を喚起し二三錢を採合ひ七十錢と頭重く引　▲第四節　當出來ず中七十五錢と伸力鈍ぶく先七十錢より六十八錢と弱み九錢と阪地電報待ちに引　▲第五節　當出來ず中七十錢と氣乘薄に不勢先限又六十七錢と寄付より二十七丁安を早耳せし山尹の賣物全因⑬好く賣⑰の目先利喰ひ賣も消化し四十九錢と崩れ押目待ちの買直しに五十三錢と小戾しに打止めたり

後場

前場引際阪地の安値に地場二流筋の賣崩しありしも四十九錢と五十三錢と手堅く打止たるが後場は大阪後寄五十一圓十二錢と氣乘薄も小口の手詰め買に當出來ず中の買に七十錢と始め先五十五錢より七十錢まりしも正米の鈍狀に高値摑みの嫌氣を喚起し四十一錢と崩れ七錢と返し六錢引　▲第二節　當出來ず中六十二錢より六十錢と不勢に始めしかば先限も四十三錢より四十錢と弱みの利喰買に四の買も加はり四十九錢と盛返し結局四十二錢と引けたり場面は存外强きも正米其他の事情より正米筋の賣物可也多きか如し

十二日前場

寄付	五〇、六〇
止め	五〇、五三
高値	五〇、七五
安値	五〇、四九

平均値段

一節	五〇、七〇
二節	五〇、七二
三節	五〇、七二
四節	五〇、六九
五節	五〇、五七

十一日出來高　廿四萬九千六百石

帳入値段　四八、七一　五〇、三四

市場雜觀

此の新穀期に際して鮮米の五十圓以上と云へは何人も買躊躇する振合があるのみか各地の正米師は農家の賣惜みにて出廻り不可能なる事を熟知しながら買進んで來る去れば場面の商勢は▲矢張り玄人買の素人賣と云ふ手振りであるが相場は容易に崩れぬのみならず客買ひ〳〵と侮りつゝ新値に躍進されて居る此の調子では弱氣の期待せる正米崩れも望み難く思ふ計りか仁川不二興業に東京名古屋大阪其他よりの正米の買注文に接して居るを見れば內地著の五十二圓で羽が生へて飛ぶと云ふ勢なるも中々在米薄で賣應ずる事が出來ぬ爲め定期を猛烈に買進んで來るらしい最早其の建玉でも四萬石以上に達して居るとの噂である▲買方は群山の森菊を筆頭として京城の鮮人筋に幾分地場の正米師も値頃觀より賣り來る傾向で中々容易に煎れ退くが如き連中ではなきが併し相場の足取りは自然買方の舞臺に獨占されて居るのみならず當市場の目標とする內地は豐作を好機として建米の下げを擴大爲し受渡しの圓滑を圖りて居るにも拘はらず其の瞬勢に侮り難き硬調を有して居る之れ全く軟派が群衆買ひと金融の嚴戒を唯一の材料として年末年始の閑りに正米崩れを豫期して理想に走り過ぎた結果に起因する計りか▲正米が逆に高騰を迎り愈々渡米調達難の聲高く前して模樣なれば限月高は免れぬと買方針を主張する向多きが兎角內地大市場を首め當市場迄來客筋の群衆買ひに斯の如き商勢を通ると云ふ狀態より推攻して居る今日の經濟界は通貨の十四億以上にも膨脹し獨り米價安を望むは時季尙早なるのみか伸力を壓迫する丈將來に反撥力を持越であるまいか

買ひ過ぎ乎

頃日來某會社の買羽音にて鮮人の群衆買を添ゆ地場の下貫成行利目當かりし折柄阪地高に促されて丙進寸退の步調を繰返し休日前の大阪止め高に今朝前寄へば各店より金切處分と煎れ物配五六十錢見當を唱へしが立合幅較し五十圓六十錢と二十五丁高に寄付一氣に七十五錢と爆せしも中限と二百丁の上鞘は買餘地無きのみか正米との採算上白六十丁以上の上鞘に當り居れば如何に先高見越とはいへ之れに金利倉敷を加算して尙裕に定期に繋きて引合ふ程度にあるを以つて地場正米筋及各地玄人筋の賣物を喚起し自然伸力を壓迫せるの振合ひあり伊し押目は鮮人筋の嫌氣買ひと煎れ物寡ろへも七十錢摑みに焦付小爭ひを演ずし機先大阪前寄五十一圓三十九錢の早耳買に又復七十五錢と氣勢を改めしか高値は正米筋の賣物寡へず再び七十錢摑みに之れ跡大阪の安移りに地場二流筋より四十九錢と賣崩され押目は敢派の手控へと小口の手詰めも加はり五十三錢と小戾して打止めたるが今朝の七十錢は正米との採算上如何にも熱狂に過ぎたるの嫌ひあり

京城正米市場

今朝の仁川期米先限高は採算無視の嫌ひある丈けに正米人氣には其反應鈍ぶかりしも雖も出廻り稀薄の際とて兎角強材に崩ひき易く朝來は賣人一人強腰の態度を仄めかせしが舊節季を眼前に控へ雪解け後の賣物增加標もありて精米筋一般に見送り模樣なるを以つて氣勢之に添はず地摺上物四十九圓と高値の儘に持合ひたり

出穀增加せん

產地の賣惜みによりて新米以來兎角捗々しき出廻りを見ず各市場を通じて現下の在米拂底を告げ居れるのみならず商條今後の出穀狀態に付ても少なかず杞憂されつゝあるが地方によりては依然多手節を控へ居れると前途の形勢混沌に昨今値頃囘崩しの模樣あり今日にては積雪深く運搬の便無きを以て出廻らざるも當然沿線各市場にも廻著を見ずと雖も雪解けの曉は手放し待ちの賣物增加すべき傾向ありて先行き出穀の增加を示すならんと

白米二三十錢高

玄米は此數日來持合ひの裡に玄賣次第に强硬の足取りなれば白米も漸次採算値に接近せんとする振合ひにて京城卸値は二三十錢方引締まり建値は店によりて最底五十七圓より五十七圓五十錢處々の唱へなり

滿洲粟小締る

豫定の新規輸入弗々行はれつゝあるが產地依然の品薄と高値をしじ既約品中弗々解合ひ行はれんとする傾向ある外地場鮮人間の需要再び喚起して荷動き今地方弗々の注文ある如く殊に昨來薄に反し稍々買進みの徵候あり減切好望となれる勞過般來の氣配本日は氣配一二十錢方引締まり新營口現物一車二十三圓五十錢、同二十三圓四十錢、同二十三圓六十錢、同三月積一車二十三圓四十錢、新四平街三月積三車二十二圓二十五錢、新長春三月積三車二十二圓二十錢、新公主嶺二月積五車二十二圓二十五錢にて手合せ行はれたり

仁川米豆取引所仲買人
㊈ 齋藤榮之助
仁川海岸町　電話三六七、三六八　電略(サ)又(ヤマサ)

仁川正米市場

定期は益々上足の光景なるも正米は之れに反して鈍ぶく逆に一二十錢安を唱へ三等合格四十九圓二三十錢見當にて弗々取引行はれつゝあるが擧まりたる物なく商內閑散なり延取引の來月物は四十九圓六七十錢地摺現物四十六圓二三十錢見當にて精米の買進み現はれつゝあるも現物薄の爲め捗々しく商談運ばず

下關米取引所仲買
㊉ 桝谷米市
多少ニ不拘御注文被下度候　取引所御利用ノ際ハ下關第一銀行住友銀行支店又ハ百十銀行ヘ御問合セ乞フ

領事歡送迎會（安東縣）

[illegible]

夜の蜘蛛

江見水蔭

『七十一』　揷畫　近藤紫雲

今しも神奈川行の電車が出たばかり。又しても龍子は唯一人取殘されたプラットホームに、其所にゐる掃除夫や改札人に極りを惡く感ぜずにはゐられなかつた。

今度の電車の出るまで待つて、それでも二人が見ゑなかつたら思ひ切つて大森まで出掛けて見やうと、廣告時計の早十時を打つばかりのを見て決心してゐる處へ。改札口の方から一人の大男が來た。見るとそれは田部谷で、毛皮の外套を着込んでゐるので、益々ムクムク。大熊か豚の樣。

惡い處で惡い人に出逢つたと思つても、既う隱れる暇も亦場所も無かつた。

『ようー。珍らしいな。龍ちゃん。何處へ行く』

ニコニコしながら近寄つて來た。

『一寸其所まで……』と龍子は曖昧な答へをした。

『其處までと云つて、甚だボンヤリした答へだな』

『一寸……親類の處まで……』

『親類は何處かね』

『何處でも好いぢやア有りませんの』

龍子は苦し紛れに然う云つた。

そんな事で瞞く田部谷では無い。

『いや、それを確かめて置かんと如何も成らん。吾輩これで龍子後援會の一人ぢやからね。龍ちゃんが電車で東京外へ出るのを見附けながら、其行先を突留めずに置いては、後日間違ひの生じた時、會長の水上伯に對して申譯が無いからね』

その水上伯と此處で出逢ふ約束なのだとも云はれぬので、龍子は困つて了つた。

『あの池上に親類が御在ますの。それを訪問しますので、此處で母の來るのを待合せて居ります』

『お母さんと一緒に？果して然うかね。若い人と二人で、海岸の砂風呂か。森ケ崎の鑛泉。然ういふ處に行くんぢやア無いかね』と田部谷の問は却々蒼蠅い。

『いゝえ、そんな事は御在ませんわ』

『や、それならば安心ぢやが……もし君一人なら、僕が好い處へ連れてツて上げるんぢやが……』

『貴郎は何方へ入らッしやるのですか』

『今日は川崎の電氣會社まで行くので……併し、その方は中止しても好い。君と二人なら、直ぐ池上の曙樓へでも連れて行くんぢやが……』

『池上？曙樓？』

『君も池上へ行くのなら、曙樓の位置を能く記憶しとくが好いよ。はツはツはツ』

其處へ早段々乘客が集合して來たので、餘り馬鹿な事も云つてゐられなく成つた。

電車は到着して、更に乘客へて、今度も亦神奈川行と成つた。

『どうかお乘り下さいまし。妾は如何しても母の來ますのを待ちますのですから……』

『いや、そんなに急がんでも好いわ』

斯うしてゐる處へ、水上伯が來ても惡い。姉の淀子が來ても惡からう。今までは待ちに待つてゐた二人だけれど、此場合に迫つては、來て呉れない方が好いと、勝手な願ひも生じるのである。

『や、それでは遺憾ながら吾輩は先發する』

田部谷は然う云つて、最後に電車の客となつた。

チン、チン、電車は動き出した。

先づ好かつたと龍子はホッとしたが、又しても廣いプラットホームに、唯一人取殘されたので、いよいよ以て極りが惡い。

日記に就て　主婦の心得

日誌は大體二つに分けることが出來ると思ひます、一つは家計簿式の物、今一つは備忘用に文章として書殘して置くのです私は兩方共惡いとは思ひませんが▣後者の方で三百六十五日毎日毎日く書き記す事が有てもなくても書くといふのは餘りの面倒ではあるまいかとも思ふのです▣規律正しく習慣をつける爲の練習には適して居るでせうがさもなければ、後の思ひ出の時位でよくはあるまいかと考へます▣前者は只支出を定めて買つた品を記して置くのも必要ではありますが、その上に私の主張は家計簿で豫算を作つて置くことです▣一家の豫算を計上するといふことは主婦に採つて興味あることですから日誌は被服、健康、贈答品、家具、交際などの欄を區分して設き、毎日の紙面も小さく區切つて、一頁中探さなくても見出して直ぐ知られる樣に日毎に多忙な世になるのですから何事でも片つ端から整理して明日のことは今日から豫定してまごつかぬ樣に仕度いと思ひます▣又着物一枚買ふにも一家の人の必要品を取調べて假令ば來年は主婦の羽織と子供の外出着一揃ひは是非なくてならぬと決定したらば見積りを豫算に記入して支出は總て豫算と對照し乍らするのです何分そうでないと兎角目に見たものは▣衣類でも家具でも求めたいと思ふ場合が澤山あり殊に婦人はさうですがかうした場合豫算と照し合せて見積りの金子と考へ合せたら大概のことが出來るのです▣家計簿と日誌これは主婦には是非入用であると思ひます▣備忘錄の方は、時折に寫眞をとつて家庭寫眞帳を拵へ、これに簡單な說明的な記事を書加へて置くのも思ひ出の一法でせうし、その外にも方法があると思ひます。

三行詩壇

相川　蓉汀（京城）

○
あはれ今宵――
深みゆく夕暗に
僧院の鐘は鳴る

○
ひやら、ひやらと
土饅頭の窓原に
消えてゆく狩の淡雪

○
光り踊く
星の光りうする、頃
露にぬれ――赤き花

○
さんさんと
秋の陽がふりそゝいでゐる――
はらはらと散つた銀杏の葉裏に

タオル
江戸タオル浴衣一手販賣
京城若草町四〇
卸商　上月商店
電話一〇三五番　振替京城五三二一番

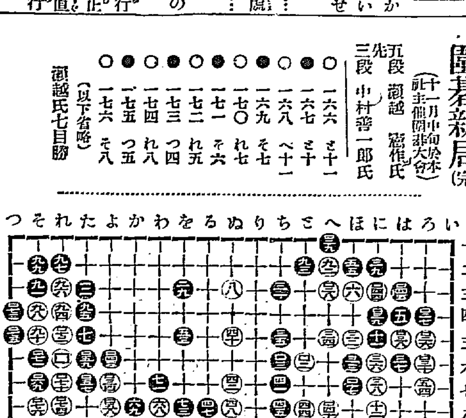
▲感冒流行にお答、お氣の毒でした二十七日入浴日は大抵な癒應致します尚御快癒になりませんなら直接救世軍に入りたいといふ方に、お答、救世軍に入るといふ(一)士官になる事(二)兵士ら信者になる事(三)社會事業部の被保護者になる事の三種あります委細下名へ(永樂町救世軍石島少校)
▲私は支那語會話を研究し樣になつて居ます誰れか同好者で勉强し樣と思ふ人がありましたなら初學の人でしたら手ほどきの勞はいとひません(KY生)
▲二十三日午前十時頃御婦人の方御手數で來の町停留場で京城門行電車に乘る際誤つて帽子を落しましたが御拾ひの方すが電話三二四番に御知らせ下さい早速頂戴に上りますから些少ら御禮も致します(落し主)

圍碁新局（完）

(十一月中旬於本社主催關西大會)

五段先　瀨越憲作氏
三段　中村啓一郎氏

○一六六　さ十一
●一六七　さ十
○一六八　へ十一
●一六九　そ七
○一七〇　れ七
●一七一　そ六
○一七二　れ五
●一七三　つ四
○一七四　れ八
●一七五　つ五
○一七六　そ八
(以下省略)
瀨越氏七目勝



講評

▲黒十三趣向ならんも二三に尖むは正しき布石法にあらず、▲黒十五は二四に超ゆる可らず、この大場を占むべし、▲黒二五時機早し此處に尖みて支障を見ざれば放任して『い』の大場を先ひ後に左下隅の戰ひに大に不便を感じたり、▲白五四惡し打たざるを可とす、黒五五と連絡したるを以て中央の黒を攻むる意味を殘すを以て此振替りは白の不利に歸せり故に六一以下六七と强硬に打たれてやむを得ず七五までの振替りを爲したれども下隅の黒は尙多少の意味を存し後患ろに黒八三の一著輕卒なり單に八九に打ち能はば白は到底九十に打ち能はざる可く黒容易に敗けまじき相なるを以て此場合六二は白の不利に歸せり▲要するに最初布石に於ては白多少利勢を得たるも六一以下七五までの振替り白の本意にあらず黒形勢を持直したる感ありしに八三の一著にて下邊侵略の意味を消滅して敗に終れるは惜むべし、(瀨越五段述)

人蔘[illegible]
京城本町壹丁目　電話一四八〇番
㋡津村兄弟商會

オゾンの素
呼吸器、肺病、ろくまく、流行感冒等の諸病に良藥……

◉原病療法藥は治療劑として婦人服藥として最有効と確定し……醫科大學……

りん病　ばい毒　有田

分析料　百圓
◉あらゆる治療をするも効なき患者は兎に角一度來談あれ

にせ物あり　有田製を買取あれ

京城南大門外停車場通　有田ドラッグ滿鮮本部
京城黄金町三丁目電車通　有田ドラッグ

龍山線兵營前
釜山大廳町二丁目
元山本町三丁目
平壤道廳正門斜向
仁川宮町二丁目
大邱弓町停車場前
鎭南浦警察署前
開城南本町二八九
晋州大安洞榮町
大連岩代町

年毎に光榮深き家庭化粧料

ホーカー液

戰後の風潮による 粧界の歸一點

曠古未曾有の大戰も我が聯合國の大勝に歸して世は平和を謳ふ長閑な春となりました。歐洲大戰亂が世界の軍事上に偉大な教訓と智識とを與へた事は今更贅言を要せぬ事ですが、更に此戰役に因つて各國人の受けた影響のより以上大なる事を記憶せねばなりません。其中でも思想の推移、嗜好の變化、物資の缺乏騰貴等は最も特筆すべきもので吾國に在つても此思潮現象は滔々として移入され、纔にデモクラシーとか改造とかいふ新しい言葉を耳にする樣になつて來ました。其是非善惡は姑く之を措き戰後世界の大勢が有らゆる方面に向つて改造を要求し、民本主義即ちデモクラシーを唱道する事の愈々急激ならんとする狀態にある事は疑ふ可からざる事實であります。今之を化粧界に就て觀察すれば這に世界の大勢は爭はれないもので此風潮は極めて自然的に嗜好の上に現はれて居ます。戰前の我が化粧品と言へば極めて小數の紳士方を除くの外其需要者の大部分は御婦人方で化粧といふ事が一種の贅澤な遊戲位いしか思はれて居なかつたものが戰後の今日では化粧は禮容を整へる作法の一つとまで極言さるるに至り御婦人は素より紳士の間に於ても熾に勵行される樣になりました、化粧の禮儀が既に尊ぶべき作法の一つでありとすれば萬人が之を實行するに何んの不思議もありませぬ、寧ろ當然の事であらねばなりませぬ。

化粧に對する嗜好の變化は實に茲に起因して居ます。男女の化粧が正に當然でありとすれば次に起るべき問題は男女間に於ける化粧差別の撤廢であります、換言すれば吾人が禮容を整へる上に於て最も簡易に最も清潔に最も理想的に其目的を達し得べき必要上男子でも婦人でも共に使用し得らるべき化粧品の出現を要求するのであります、此要求は果然戰後の今日に於て驀進的勢力の下に表現されました、世界に化粧品の種類は約三十萬種もありますが此デモクラシカルな要求に對して滿足を與ふべき化粧品が幾あるでせうか、時勢の推移を考察して此要求に迎合すべき用意が果して化粧品界にあつたでせうか。

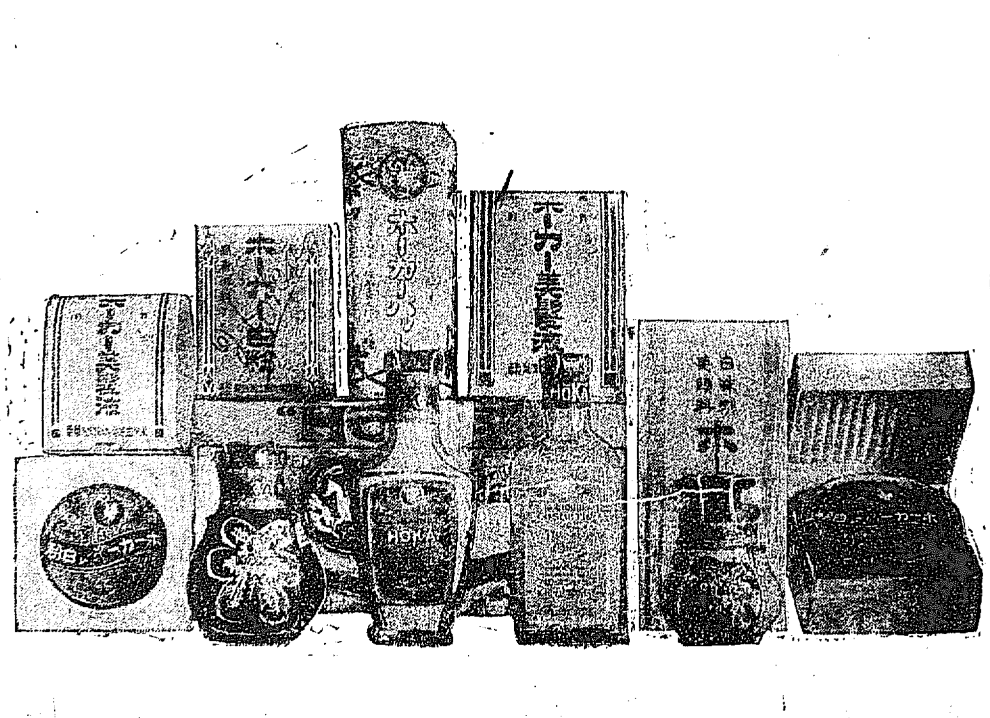
ホーカー液は時代の風潮に順じて 終に化粧品界を統一せり

化粧品界が時勢の影響を受けて一大打擊を蒙つた時[illegible]此風潮に順應して萬人の渇仰的要求を遺憾なく充當し偉大なる感謝と賞讚とを博して熱狂的歡迎を受けたるもの唯一つにホーカー液あるのみ。然りホーカー液は十數年前既に今日斯くあるべきを洞察して幾多の苦辛と幾多の努力とを以て發見せられ、當時幼稚なりし我が化粧品界を啓發しつゝ有らゆる辛酸と戰つて今日に及び終に斯界を統一するの榮冠を戴くに至つたものであります。今や世界は擧つて改造を絶叫しデモクラシーを唱道して萬人の趨嚮する所一に歸せんとするの時に當りホーカー液が此偉大なる榮譽を贏ち得て其名を東西に轟せらる、所以亦決して偶然ではないのであります。

乞ふ之をホーカー液の實力に就て徵せられよ……ホーカー液が化粧品界長夜の惰眠を破つて革命の一大急先鋒を爲すや、白色濃厚液の名聲は直ちに天下を風靡し發賣四年にして東洋の舞臺を席捲し更に南洋群島に擴布せられ遡て米國太平洋岸に亘り墨西哥南米の天地全くホーカーの商權を確立するに及び、渾圓球上其大半を收めたる異數の跳躍は國產品前古を曠うするの大覇業を樹てたるものとして日本商品の爲めに萬丈の氣焰を吐いた次第であります。內にあつては再三宮內省御買上の光榮と高貴の御料を賜り更に品評會博覽會等に於ける金牌賞牌の數は實に遑ない程であります、就中特許局に開催せられた家庭博覽會に化粧品として出品を許可せられたものはホーカー液ホーカー白粉ホーカー美髮液の三種のみで此三品こそ化粧品中の白眉たる事を證明して餘りありといふべしであります。更に最近の發賣に係るホーカーパツト、ホーカークリーム白粉は共に粧界の革命的逸品として世人の歡賞を受け前三者と合して粧界の五珍寶とまで稱揚されて居るに徵しても如何にホーカー化粧品が時勢の要求に合致して居るが窺はれるでありませう。

之を要するに現時粧界の實情は時勢の推移に依つて大改造を餘儀なくせられ、衆望の歸する所に向つて正に一致するの止むなき狀態に立ち至つて居ます、此一大變動の時機に際し我が家庭化粧料ホーカー液が克く時勢の要求に合致して隆々聲價を高め終に最後の勝利者として斯界を統一するの大覇業を確立した事を本舖は江湖御愛用者と共に喜ぶの光榮を有します

新年に際し謹んでホーカー 御愛用者各位の御清福を奉祝候



東京神田和泉橋際
ホーカー化粧品本舖　堀越嘉太郎商店
電話神田　一四三・一四四・一四五
振替口座東京　一五六

五大化粧料

ホーカー液
ホーカー白粉
ホーカー美髮液
ホーカーパツト
ホーカークリーム白粉